

令和 5 年度
桑袋ビオトープ公園解説・維持管理業務
年間業務報告書（本編）



令和 5 年 7 月撮影

（株）自然教育研究センター

目 次

I. 令和5年度の活動報告

長期目標	1
中期目標	1
1. 令和5年度の重点的な取り組み	2
2. 実施体制と人員配置	3
3. 解説業務	
(1) 情報収集及び提供	
①窓口解説及び電話対応等	4
②日常的な体験プログラム	4
③地域、区内関連施設との連携事業	5
④入館者モニタリング	7
(2) 展示物、蔵書の管理・運営	8
①展示物の企画・配置・管理・更新	8
②蔵書の管理・保管	10
③生体展示の管理	11
(3) 体験型啓発事業の企画・実施	
①体験型啓発事業の概要	12
②きっかけプログラム	13
③導入型プログラム	18
④発展型プログラム	20
⑤団体向けのプログラムの企画と実施	24
⑥小中学校等を対象とする職場体験の受け入れ	25
⑦区内教育機関等を対象とする出張授業の企画と実施	25
4. 区民協働	
(1) 公園ボランティアの育成・支援	26
①水辺ボランティアの概要	26
②水辺ボランティア6・7期生	27
③水辺ボランティア8期生	28
④野あそびボランティア	29
⑤ビオトープ公園ジュニアレンジャー（ビオレンジャー）	32
⑥提案型ボランティア制度	33
⑦ビオトープ公園サポーター制度	34
⑧飛び込み型環境管理ボランティア	35
⑨区民参加型環境管理イベント	35
5. 広報活動	
(1) 当公園に関する情報発信と情報収集	36
(2) 印刷物による情報発信	36

(3) ホームページ等インターネットを活用した情報発信	37
(4) 園外でのPR活動	39
6. 維持管理業務	
(1) 巡回点検	40
(2) あやせ川清流館の管理	40
(3) 緊急作業	40
(4) その他の維持管理作業	41
7. 危機管理	
(1) 危機管理の概要	42
(2) 安全管理マニュアルの作成	42
(3) 災害対策マニュアルの作成	42
(4) 個人情報の保護	42
8. 環境管理	
(1) 環境管理計画の作成と環境管理	43
①環境管理計画の作成と報告	43
②動植物のモニタリング	43
③ため池及び周辺河川の水質のモニタリング	45
④草地の維持・管理	45
⑤樹木等の維持・管理	47
⑥生物管理	48
⑦水生植物等の管理	49
⑧ため池の水質改善の取り組み	50

長期目標

「桑袋ビオトープ公園を拠点とした持続可能な地域づくり」

公園の生物多様性について、区民が主体性をもって学び守る公園にします。そのことを通じて、公園内だけではなく、その地域全体が、自然と共生する持続可能な環境になることを目指します。

① 区民が育てる公園、公園と育つ地域と人

公園で育った公園ボランティアや子どもなどが、さまざまな地域の緑地保全活動の担い手になっていきます。

② 子どもから高齢者までの学びと充実、安らぎの場

公園内では、地域住民の目が行き届き、子どもから高齢者までの誰もが安心して、遊び、学ぶことが出来ます。

③ 地域の生態系と調和した公園の自然

公園のみならず公園を中心とした地域全体の生物多様性が向上し、地域の生態系と調和した公園の自然が確立されています。

④ 足立の生態系を守る情報拠点

地域の生物多様性保全に関わるノウハウや情報が領域を超えて集積・発信されています。

⑤ 全国区で有名な公園

公園での取り組みが広域で評価され、全国区で有名な公園となることで桑袋ビオトープ公園が足立区民の誇りになっています。

中期目標

「生物多様性が高まるビオトープ管理と

誰もが安心・安全に利用できる自然体験の場づくり」

長期目標を実現するために、各業務に中期的な目標を立てて遂行していきます。現在の中期目標は令和4年度に設定し、目標年度を令和8年に定めて業務を遂行しました。

1 令和5年の重点的な取り組み

① サンクチュアリの計画的伐採によるギャップ環境の創出

ギャップ創出による生物多様性の増加を目指し、サンクチュアリの一部伐採を計画・実施します。伐採前後の環境の変化は継続してモニタリングを行い、記録をします。

② 冬季の入園者及び入館者を増加させる取り組みの検討と実施

令和4年度は入園者及び入館者目標を達成することができませんでした。例年入園者数が落ち込む11月～3月に入園、入館者数を増加させる取り組みを検討し実施することで、入園者及び入館者目標の達成を目指します。

③ 小学校をはじめとする団体利用促進の取り組みの検討と実施

小学校をはじめとする各団体により当公園を利用してもらえるように、プログラム集の作成等の利用促進の取り組みを検討し、実施することで団体利用者数の増加を目指します。

2 実施体制と人員配置

公園開園時は常時３名以上を配置しました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月	4	4	0	4	3	3	6	5	5	0	3	3	4	3	4	5	6	3	3	4	3	6	4	1	3	4	3	3	6	5	
5月	0	3	5	5	5	5	4	0	5	4	5	4	5	4	6	3	4	4	5	5	4	0	4	3	4	4	5	5	0	4	6
6月	3	3	6	6	2	3	4	3	4	5	6	2	4	4	4	3	5	4	6	3	3	3	3	4	4	1	3	4	3	4	
7月	5	5	0	3	4	4	3	5	5	0	4	3	5	3	5	5	4	6	3	4	5	5	5	1	3	3	4	4	5	5	0
8月	4	3	3	3	5	5	0	3	4	3	5	6	5	0	4	4	3	3	6	6	6	3	4	4	3	4	5	2	3	4	3
9月	3	4	4	0	6	4	4	3	5	6	1	4	3	4	3	5	3	4	6	3	3	4	4	3	1	3	4	3	5	4	
10月	4	0	4	3	3	3	4	6	6	0	3	3	3	5	4	6	3	4	3	5	4	4	6	3	3	3	3	5	4	0	3
11月	3	4	4	5	4	1	5	3	5	4	5	3	3	4	4	4	3	4	4	0	6	4	3	6	4	5	1	5	5	3	
12月	4	4	5	1	6	4	5	3	5	4	7	4	3	4	4	5	6	0	4	4	4	4	5	6	1	3	7	4	0	0	0
1月	0	0	0	3	4	4	5	4	7	3	5	4	6	5	7	4	4	4	4	6	3	2	5	6	5	6	6	6	0	4	6
2月	4	4	5	5	0	4	3	4	5	6	5	5	0	5	5	4	5	5	7	4	4	4	4	4	6	2	3	3	5		
3月	4	5	5	1	4	5	3	3	5	4	1	4	3	5	6	5	5	7	3	4	4	4	7	6	0	4	3	3	3	4	5

3 解説業務

(1) 情報収集及び提供

①窓口解説及び電話対応等

当公園では、入館者のニーズを把握するとともに、自然情報の提供などを目的として、入館者へのインフォメーション、レンジャートークを行いました（表3－(1)－①－1）。また、電話での問い合わせ等についても対応しました。

今後も入館者と直接触れ合う事で当公園へのニーズを把握しながら、園内の季節の見どころ、ビオトープや生物多様性などを、体験や観察を交えながら解説していきます。

「インフォメーション」	入館者のニーズに応じて、施設やイベントの案内を行う。単なる情報提供に終わらず、自然の楽しみ方や自然への気づきにつながるように心がける。
「レンジャートーク」	入館者の関心に応じて、展示や季節の自然などを通じ解説を行う。実際に野外でも体験したいという気持ちにつながるように心がける。

表3－(1)－①－1 インフォメーション、レンジャートークの実施状況

月	インフォメーション			レンジャートーク		
	大人	子ども	合計	大人	子ども	合計
4	50	3	53	86	96	182
5	59	9	68	115	117	232
6	44	8	52	51	67	118
7	26	11	37	44	50	94
8	52	14	66	43	64	107
9	22	9	31	19	11	30
10	26	10	36	56	71	127
11	18	2	20	39	10	49
12	8	5	13	52	72	124
1	9	2	11	39	44	83
2	15	1	16	59	37	96
3	22	7	29	123	172	295
合計	351	81	432	726	811	1,537
令和4年度	599	187	717	1,836	1,967	3,803

②日常的な体験プログラム（日常プログラム、ビオレンジャー活動）

日常的な体験プログラムとしては、だれでも参加できる「日常プログラム」と、子ども向けボランティアであるビオレンジャーの登録者が参加できる「ビオレンジャー活動」の2種類を実施しました（表3－(1)－②－1）。

今年度は、ビオレンジャー活動の参加者数が前年度よりも減少したのに対し、日常プログラムについては、前年度を上回る回数と参加者数となりました。これは、新型コロナウイルスの5類移行を受けて様々な年齢層からの気軽な自然体験のニーズが増加した結果と考えられます。

次年度以降も、年間を通じて様々な日常プログラム、ビオレンジャー活動を提案し、「いつでも自然体験ができる公園」というイメージの定着を図ります。

表 3－（１）－②－１ 日常的な体験プログラム実施回数および参加状況

月	日常プログラム				バイオレンジャー活動			
	回数	参加者数			回数	参加者数		
		大人	子ども	計		大人	子ども	計
4月	135	236	396	632	57	0	279	279
5月	120	721	748	1,469	46	0	622	622
6月	119	708	701	1,409	52	0	781	781
7月	199	705	788	1,493	56	0	770	770
8月	152	599	629	1,228	54	0	514	514
9月	146	515	637	1,152	41	0	503	503
10月	120	327	405	732	49	0	361	361
11月	123	223	346	569	25	0	164	164
12月	83	68	171	239	29	0	65	65
1月	74	43	131	174	27	0	51	51
2月	86	39	160	199	21	0	42	42
3月	177	127	464	591	30	0	133	133
計	1,534	4,311	5,576	9,887	487	0	4,285	4,285

	日常プログラム		バイオレンジャー活動		計	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
令和5年度実績	1,534	9,887	487	4,285	2,021	14,172
令和4年度実績	985	7,291	478	4,537	1,463	11,828

③地域、区内関連施設との連携事業

・区内関連施設との連携

今年度は、足立区生物園と足立区都市農業公園の２つの施設で連携を行いました。

生物園とは、前年度に引き続きアメリカザリガニの駆除について連携を行いました。園内で捕獲したアメリカザリガニを生物園に運び、飼育している生物のエサとして利用してもらったほか、「足立の生きもの観察室」での展示に活用してもらいました。また、生物園内に当公園のPRのための展示スペースを借り受け、園内の四季の自然を紹介するマップを設置しました。詳細については「生物園展示 P.10」をご覧ください。

都市農業公園とは、10月14日、15日に都市農業公園で行われた収穫祭にて、プログラム「ハスの実チャームづくり」を行い、連携を行いました。

・区内公共施設との連携

今年度は足立区花畑図書館との連携事業として、8月20日（日）に「青空おはなし会」を実施しました。図書館のスタッフによる読み聞かせの後、当公園解説員による生きもののふれあい体験を行いました。

・教育機関との連携

今年度は早稲田高等学院の学生の研究協力と足立特別支援学校との連携授業を行いました。

研究協力では、「ザリガニのインピーダンスと肥満度の研究」に関する協力として、研究材料として公園で捕獲したアメリカザリガニを提供しました。

連携授業では、美術と情報の授業において公園を題材にした活動を行いました。

・学校ビオトープに関する連携

昨年度に引き続き、浏江第一小学校、浏江小学校、墨田区第二寺島小学校と、新たに六木小学校の学校ビオトープについて、年間を通したコンサルティングを実施しました。

浏江第一小学校と浏江小学校では、毎月一回の委員会活動にスタッフが参加し、ビオトープに関する説明、校内の池の生きもの調査、プラ舟を用いたビオトープ設置作業についての助言を行いました。合わせて、学校長と委員会担当の先生と今後のビオトープ整備と活用方法についての打ち合わせを行いました。

第二寺島小学校では、校内にビオトープを作る4年生の総合の授業の講師として、ビオトープに関する授業、ビオトープの設計に関する助言、インタープリテーションに関する授業を行いました。

六木小学校では、全学年に向けてビオトープの授業を行いました。また、ビオトープの設計に関する助言を行いました。

各小学校について来年度も引き続きコンサルティングを続けていきます。

④入館者モニタリング

・入園者数、入館者数の推移

表 3 - (1) - ④ - 1 年間入園者数・入館者数推移

令和5年度と過去4年間の月別入園者数推移の比較													(単位: 人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	2,937	3,358	4,384	4,709	3,615	4,156	2,711	3,582	1,784	1,753	2,264	140	35,393
(令和元年度累計)	2,937	6,295	10,679	15,388	19,003	23,159	25,870	29,452	31,236	32,989	35,253	35,393	
令和2年度	0	0	1,561	2,751	2,192	2,223	2,304	2,212	1,112	1,243	2,206	1,932	19,736
(令和2年度累計)	0	0	1,561	4,312	6,504	8,727	11,031	13,243	14,355	15,598	17,804	19,736	
令和3年度	2,687	4,968	4,175	3,491	3,177	3,221	2,517	3,152	1,416	1,476	1,148	1,869	33,297
(令和3年度累計)	2,687	7,655	11,830	15,321	18,498	21,719	24,236	27,388	28,804	30,280	31,428	33,297	
令和4年度	2,592	4,578	3,783	3,886	3,431	3,142	2,735	2,122	1,513	1,223	1,604	1,779	32,388
(令和4年度累計)	2,592	7,170	10,953	14,839	18,270	21,412	24,147	26,269	27,782	29,005	30,609	32,388	
令和5年度	2,351	4,653	5,044	3,827	2,618	3,787	2,901	3,130	1,316	1,054	1,287	3,625	35,593
(令和5年度累計)	2,351	7,004	12,048	15,875	18,493	22,280	25,181	28,311	29,627	30,681	31,968	35,593	
前年同月比%	90.7	101.6	133.3	98.4	76.3	120.5	106.0	147.5	86.9	86.1	80.2	203.7	
前年同月累計比%	90.7	97.6	109.9	106.9	101.2	104.0	104.2	107.7	106.6	105.7	104.4	109.8	

令和5年度と過去4年間の月別入館者数推移の比較													(単位:人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	2,572	3,041	4,150	4,701	3,517	5,073	2,453	2,958	1,617	1,565	2,326	111	34,084
(令和元年度累計)	2,572	5,613	9,763	14,464	17,981	23,054	25,507	28,465	30,082	31,647	33,973	34,084	
令和2年度	0	0	0	1,883	3,012	2,462	1,833	1,611	740	1,008	1,306	1,218	15,073
(令和2年度累計)	0	0	0	1,883	4,895	7,357	9,190	10,801	11,541	12,549	13,855	15,073	
令和3年度	2,604	5,023	4,420	4,045	3,663	3,176	2,621	1,967	1,109	370	0	784	29,782
(令和3年度累計)	2,604	7,627	12,047	16,092	19,755	22,931	25,552	27,519	28,628	28,998	28,998	29,782	
令和4年度	3,081	4,827	3,633	5,270	3,895	3,226	2,585	1,720	1,033	919	1,148	1,608	32,945
(令和4年度累計)	3,081	7,908	11,541	16,811	20,706	23,932	26,517	28,237	29,270	30,189	31,337	32,945	
令和5年度	2,593	5,571	5,297	5,350	3,470	3,566	2,587	3,318	1,090	897	1,225	3,872	38,836
(令和5年度累計)	2,593	8,164	13,461	18,811	22,281	25,847	28,434	31,752	32,842	33,739	34,964	38,836	
前年同月比%	84.1	115.4	145.8	101.5	89.0	110.5	100.0	192.9	105.5	97.6	106.7	240.7	
前年同月累計比%	84.1	103.2	116.6	111.8	107.6	108.0	107.2	112.4	112.2	111.7	111.5	117.8	

今年度の年間入園者数は 35,593 人で、目標としていた 40,000 人には届きませんでした。また、年間入館者数は 38,836 人と、目標としていた 36,500 人を上回りました(表 3 - (1) - ④ - 1)。入園者数よりも入館者数が多く、極端に冬季に人数が減る事から、プログラム目当てに来園している方が多いと考えられます。今後は団体向けプログラムや冬季のプログラムについて周知・実施をしながら来園・来館者増を目指します。

・館内アンケート

新型コロナウイルス流行に伴い撤去をしておりましたが、2 月より入館者がいつでも記入できる自由記述形式のアンケートの設置を再開しました。回収したアンケートは 11 枚で、全てが当公園とあやせ川清流館を評価する内容でした

今後も自由記述形式のアンケートを継続し、入館者のニーズを把握しながらより良い公園作りにつなげていきます。

(2) 展示物、蔵書の管理・運営

展示は以下の目標のもとに作成しました。

○情報の発信と受信の機能を持つ展示

野外に出る前の必要な情報、自然に親しむための工夫を提供するとともに、利用者からの情報も展示に活用します。

○きっかけを与える展示

知識のみを伝えるだけではなく、自然の見方やとらえ方、自然との接し方など、気づき、きっかけを提供することを目指します。

○野外へと誘導する展示

野外での自然体験に誘導するための導入、あるいはまとめとして位置づけます。

○当公園の利用方法を知らせる展示

入園者に、当公園がどういった公園なのか、どのような活動ができるのか、などの利用方法を知って頂くことを目的とします。

①展示物の企画・配置・管理・更新

・館内展示

入館者に公園の魅力を伝えられるよう努めました。解説員カウンターでは、季節ごとの日常プログラムの案内を掲示しました。また、黒板ボードを利用し、イベント情報やお知らせなどを発信しました。季節ごとにテーマを持つ季節展示では、定期的な入れ替えを行いました（表3－（2）－①－1）。

次年度も、入館者にいつでも楽しんでもらえるよう、定期的な展示の更新と管理を行います。

表3－（2）－①－1 館内展示の更新一覧

日付	作業内容
週に1回	インフォメーションボードの更新
週に1回	桑袋ナウ記事紹介ボードの更新
月に1回	SNS記事紹介ボードの更新
4月30日	季節展示「ヘビ？トカゲ？カナヘビ！」入れ替え
	季節展示「トンボせいぞろい」入れ替え
6月19日	ちびっこコーナーパネル入れ替え
7月19日	草地の生きもの紹介パネル入れ替え
	季節展示「セミのぬけがらみつけ」入れ替え
9月16日	季節展示「カマキリを探そう」入れ替え
10月31日	季節展示「カルガモウォッチング」入れ替え
11月16日	ちびっこコーナーパネル入れ替え
12月26日	草地の生きもの紹介パネル入れ替え
	水際の生きもの紹介パネル入れ替え
	季節展示「おちばいろいろ！」入れ替え
	季節展示「ガマの花」入れ替え

・ 野外展示

野外展示は公園を楽しんでもらうためのきっかけや、あやせ川清流館までの誘導として有効に活用できるもので、以下のような機能を考え設置しました。

○自然解説に関する展示

- ・ 自然の見方、楽しみ方の紹介
- ・ 身近な自然の利用方法や保全方法の提案

○施設の利用に関する展示

- ・ あやせ川清流館や浄化施設、トイレなど各施設の周知と誘導
- ・ 利用方法の周知（禁止事項やルールなど）

今年度は、野外掲示板の更新を随時行いました。また、あやせ川清流館入口の両脇に展示している「手のひらのビオトープ」では、季節ごとに寄せ植えを作成し、樹木の剪定等手入れを行いました（表３－（２）－①－１）。園内時計の下の野外掲示板には、イベント情報に加えて、日常プログラムを紹介した掲示を設置し、プログラムへの参加を促すものとなりました。手のひらビオトープでは、入園者が自宅の庭やベランダで楽しめるような、生き物が利用できる環境づくりの展示になるようなものを設置しました。水が入っている鉢にはトンボが集まる様子、寄せ植えにはアゲハチョウの幼虫や、チョウが吸蜜に来ている様子が観察され、生物多様性やビオトープネットワークの普及啓発に役立ちました。

次年度も定期的な野外掲示板の更新を行い、手のひらビオトープを介したビオトープネットワークの普及啓発を目指した展示作りを行います。

表３－（２）－①－１ 野外展示の更新一覧

日付	作業内容
4月30日	野外掲示板の更新
6月7日	野外掲示板の更新
6月30日	野外掲示板の更新
8月31日	野外掲示板の更新
9月29日	野外掲示板の更新
10月19日	手のひらビオトープ植え替え
10月31日	野外掲示板の更新
11月30日	野外掲示板の更新
12月26日	野外掲示板の更新
1月30日	野外掲示板の更新
2月25日	野外掲示板の更新
3月23日	手のひらビオトープ植え替え
計	12 回

・生物園展示

生物園に設置した桑袋ビオトープ公園の紹介展示を、年3回作成、更新しました。季節ごとに公園で見られる生きものや、日常プログラムの紹介を載せたパネル展示を作成し、設置しました。この展示をきっかけに当公園に遊びに来た入園者もあり、ビオトープ公園の周知につながりました。

②蔵書の管理・保管

当公園の図書コーナーでは、以下の分類で図書を収蔵しています。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・大人の読み物（植物、動物、環境、歴史、自然体験・遊び、ビオトープ）・図鑑（植物、昆虫、鳥、両生・爬虫類、その他の生き物） | <ul style="list-style-type: none">・児童書・絵本 |
|--|--|

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受けて、5月より図書コーナーを全面的に開放しました。季節に合わせたおすすめの本の展示や整理を行いました。また、ちびっこコーナーには小さなお子様が親しめるように生きものをテーマとした絵本を配置しました。

③生体展示の管理

園内で観察できる生きものを、環境ごとに展示しました。草地の水槽ではバッタやテントウムシなどの昆虫、林地の水槽ではアオダイショウやニホンカナヘビなどの爬虫類やアオスジアゲハなどの昆虫、水辺の水槽ではモツゴやウキゴリなどの魚類やスジエビ、クロベンケイガニなどの甲殻類を飼育し、展示しました（表３－（２）－③－１、表３－（２）－③－２）。

表－３－（２）－③－１ 生体展示一覧

テーマ	展示期間	生きもの
水辺	通年	モツゴ
		ウキゴリ
		クロベンケイガニ
	4月以降	スジエビ
	3月～6月	ミジンコ
水辺の 外来種	通年	ヒメダカ
		アメリカザリガニ
		ミシシippアカミミガメ
林地	通年	シマヘビ
		アオダイショウ
		ニホンヤモリ
	4月以降	ニホンカナヘビ
	5月～6月	アオスジアゲハ
草地	3月～6月	ナナホシテントウ
		ナミテントウ
		ヒメカメノコテントウ
		ムーアシロホシテントウ
	6月～9月	ショウリョウバッタ
		コバネイナゴ
		オンブバッタ
		イボバッタ
	9月～12月	エンマコオロギ
		ホシササキリ
		クビキリギス
	1月～3月	クビキリギス
		カマキリの卵硝
	3月以降	ナナホシテントウ
		ナミテントウ

表－３－（２）－③－２ 生体展示一覧

日付	内容
6月18日	草地水槽①更新「テントウムシ」→「バッタ」
9月12日	草地水槽①更新「バッタ」→「鳴く虫」
1月22日	草地水槽①更新「鳴く虫」→「冬越しの生きもの」

(3) 体験型啓発事業の企画・実施

①体験型啓発事業の概要

- ・きっかけプログラム
 - 1 自然のあそび屋台

その日の自然素材でできる初心者向けの小規模な自然体験プログラムを屋外で野あそびボランティアとともに実施。(当日受付)
 - 2 ちびっこ自然体験

未就学児とその保護者を対象に、初心者向けの自然体験プログラムを実施。(事前募集)
- ・導入型プログラム

自然を体験したいという方に、気軽に参加できるプログラムを実施。(当日募集)
- ・発展型プログラム

自然に関心があり深く知りたいという方に、より深い内容のプログラムを実施。(事前募集)

表3－(3)－①－1 令和5年度各プログラムの実施状況

	回数	参加者数			平均 参加者数	定員	参加率	
		大人	子ども	計				
自然のあそび屋台	26 (26)	304 (344)	359 (394)	663 (738)	25.5 (28.4)	なし	—	—
ちびっこ自然体験	16 (16)	77 (66)	78 (74)	155 (140)	9.7 (8.8)	各回10人	97%	(88%)
導入型プログラム	43 (41)	193 (160)	243 (198)	436 (358)	10.1 (8.7)	各回10人	109%	(90%)
発展型プログラム	13 (11)	115 (110)	128 (124)	243 (248)	18.7 (22.5)	20～50人	85%	(86%)
計	98 (54)	689 (751)	808 (675)	1497 (1246)	15.3 (23.1)	—	97%	(81%)

※カッコ内は令和4年度の数値を表す

②きっかけプログラム（自然のあそび屋台、ちびっこ自然体験）

・自然のあそび屋台

自然のあそび屋台は、屋外に出展した屋台で行う季節の自然を利用した随時対応の自然体験プログラムです。実施は野あそびボランティアが担当し、毎回２種類のプログラムから参加者が体験したいプログラムを選べる形で実施しました。

今年度の自然のあそび屋台１回あたりの参加者数は約２６人で、前年度の約２８人よりも減少しましたが、依然として気軽な自然体験の需要が高い事が伺えます。（表３－（３）－②－１）

次年度も今年度同様に、野あそびボランティアによる自然のあそび屋台の運営を行い、より参加者が楽しめるプログラムを提供します。

表３－（３）－②－１ 自然のあそび屋台参加状況

回数	日時		大人	子ども	計	回数	日時		大人	子ども	計
1	4月9日	日	17	27	44	14	11月12日	日	3	2	5
2	4月16日	日	10	14	24	15	11月23日	木	23	15	38
3	4月23日	日	19	26	45	16	12月10日	日	10	12	22
4	5月4日	木	20	24	44	17	12月24日	日	11	18	29
5	5月7日	日	4	4	8	18	1月8日	月	12	19	31
6	5月14日	日	8	11	19	19	1月21日	日	0	0	0
7	6月18日	日	39	33	72	20	2月12日	月	15	16	31
8	7月17日	月	23	31	54	21	2月23日	金	0	0	0
9	8月11日	金	8	8	16	22	2月25日	日	4	4	8
10	9月18日	月	21	21	42	23	3月10日	日	14	18	32
11	10月15日	日	8	10	18	24	3月17日	日	8	14	22
12	10月29日	日	16	19	35	25	3月20日	水	0	0	0
13	11月3日	金	9	10	19	26	3月24日	日	5	5	10
			202	238	440				304	359	663

前年度の自然のあそび屋台実施実績との比較

実施回数	大人	子ども	計	平均 参加者数
令和5年度	304	359	663	26
令和4年度	344	394	738	28

・ちびっこ自然体験

5～11月の毎月第4日曜日（7月は第3、第4日曜日）に、午前10時30分から11時30分と午後1時30分から2時30分の各回1時間、未就学児とその保護者を対象とした自然体験プログラムを実施しました。

月毎に、家族で一緒に生きものに親しんでもらうことができるプログラムを実施しました。コロナ対応として、昨年度までは定員20名の場合20名までしか当選者を出していませんでしたが、今年度は人数制限を緩め、毎回22～24人程度と多めに当選者を出しました。その結果、参加率が97%となり、前年度より増加しました。また、今年度は例年応募者数の多い「家族で触ろう！水の生きもの」を2日間、4回実施しました。応募に対しての当選確率が上がり、イベントの需要と供給のバランスが良くなっていると見られます（表3－（3）－②－1）。終了後のアンケート（図3－（3）－②－4）結果では、参加者からは好評の声を頂いており、リピーターもみられました（表3－（3）－②－2、図3－（3）－②－1、図3－（3）－②－2）。また、区内からの応募率は57%となりました（図3－（3）－②－3）。

次年度は、今年度と同様に生きもの探しや自然遊びをテーマにして実施するとともに、未就学児対象として捕まえるのが難しい「家族で探そう！鳴く虫」を、公園で捕まえやすく、触れ合いやすい「家族で探そう！カナブン」に変更して実施します。また、実施時間を導入型イベントと合わせ、午前10時から11時、午後2時から3時の各回1時間の実施と変更します。

表3－（3）－②－1 ちびっこ自然体験参加状況

	実施日	プログラム名	回数	定員	応募者数			応募率 (%)	参加者数			参加率 (%)
					大人	子ども	計		大人	子ども	計	
1	5月28日（日）	家族で探そう！ダンゴムシ	2	20	11	12	23	115%	8	10	18	90%
2	6月25日（日）	家族で触ろう！ザリガニ	2	20	30	31	61	305%	11	9	20	100%
3	7月16日（日）・23日（日）	家族で触ろう！水の生きもの	4	40	33	33	66	165%	22	22	44	110%
5	8月27日（日）	家族で探そう！バッタ	2	20	11	11	22	110%	11	11	22	110%
6	9月24日（日）	家族で探そう！鳴く虫	2	20	11	10	21	105%	8	10	18	90%
7	10月22日（日）	家族で遊ぼう！ドングリ	2	20	15	14	29	145%	12	10	22	110%
8	11月26日（日）	家族で遊ぼう！落ち葉	2	20	12	12	24	120%	5	6	11	55%
計			16	160	123	123	246	154%	77	78	155	97%
前年度（令和4年度）合計			16	160	165	163	328	205%	66	74	140	88%

表3－（3）－②－2 ちびっこ自然体験実施後の保護者アンケート結果

実施日	5月28日	6月25日	2023/7/16、23	8月27日	9月24日	10月22日	11月26日	合計
タイトル	家族で探そう！ ダンゴムシ	家族で触ろう！ ザリガニ	家族で触ろう！ 水の生きもの	家族で探そう！ バッタ	家族で探そう！ 鳴く虫	家族で遊ぼう！ ドングリ	家族で遊ぼう！ 落ち葉	
回答者人数	8	11	21	10	8	12	5	75
当公園のイベント参加回数								
はじめて	5	9	12	4	2	8	1	41
2回目	1	0	6	4	2	3	0	16
3回以上	2	2	3	2	4	1	4	18
イベントを知った理由（複数回答可）								
ニュースレター	2	3	5	2	4	3	5	24
あだち広報	0	2	7	1	1	6	1	18
公園ホームページ	0	0	6	2	2	2	0	12
解説員（スタッフ）から	3	1	2	0	0	1	0	7
足立区公式Facebook	0	0	0	0	0	0	0	0
ちびっこ自然体験ポスター・チラシ	2	4	4	3	1	1	0	15
葉袋ビオトープ公園SNS	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	2	1	0	2	1	0	0	6
イベントの満足度								
とてもよかった	8	10	20	10	7	11	5	71
よかった	0	1	1	0	1	1	0	4
あまりよくなかった	0	0	0	0	0	0	0	0
よくなかった	0	0	0	0	0	0	0	0

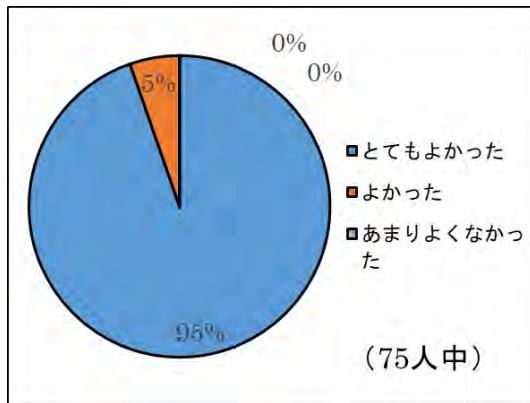


図3-(3)-②-1
ちびっこ自然体験の満足度

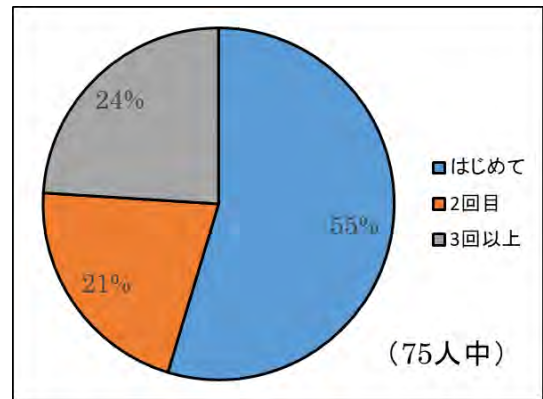


図3-(3)-②-2
ちびっこ自然体験のリピーター率

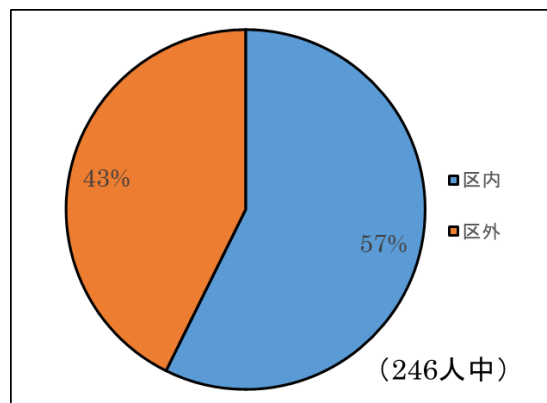


図3-(3)-②-3
ちびっこ自然体験応募者の区内率

ちびっこ自然体験に参加したみなさまへ

よりよいイベントづくりのため、アンケートにご協力ください。

1. ちびっこ自然体験に参加したことはありますか？ （あてはまるものに○） 今回がはじめて 2回目 3回以上
2. ちびっこ自然体験を何で知りましたか？ （あてはまるものに○） ・ニュースレター もらった場所（ ） （イベント）や活動紹介のあたりより ・あだち広報 ・公園ホームページ ・解説員から ・足立区公式Facebook ・ちびっこ自然体験ポスター、チラシ ・桑袋ビオトープ公園公式SNS ・その他（ ）
3. 今回のちびっこ自然体験はいかがでしたか？ とてもよかった よかった あまりよくなかった よくなかった 理由（ ）
4. 今回のちびっこ自然体験でのお子様の反応はいかがでしたか？
5. 保護者様のご感想を教えてください。
6. 今後やってみたいイベント、企画してほしいことはございますか？

ご協力ありがとうございました。

図3-(3)-②-4
ちびっこ自然体験保護者アンケートの内容

◆ 5月28日「家族で探そう！ダンゴムシ」

- ・兄妹で幼稚園児が楽しむのにぴったりな内容でした。
- ・ダンゴムシの知識もたくさん教えてもらえて、とても楽しめました！
- ・娘が初めてダンゴムシを触ってみることができました。
- ・きちんとした知識を持ったスタッフさんがいてくれるので、子も親も勉強になりました。また参加したいです。ありがとうございました。

◆ 6月25日「家族で触ろう！ザリガニ」

- ・ザリガニを触ったり観察できて良い経験になりました。
- ・オスメスの区別を覚えたのでうれしそう。
- ・参加人数が少なくてよかった。多いと聞こえなかったり、楽しめないうえに、
- ・普段生き物に触れる機会がないので、良い経験になりました。

◆ 7月16日、23日「家族で触ろう！水の生きもの」

- ・普段触れない魚やエビに直接触ることができた。
- ・年齢にちょうど良く、暑さにも配慮していただきとても楽しめました。
- ・生き物と関わることにまた少し自信がついたように見えます。
- ・魚やエビ、ザリガニの正しい触り方をわかりやすく、子供に教えてもらえてよかった。

◆ 8月27日「家族で探そう！バッタ」

- ・バッタを見つけられた。（個人の虫探しでは、全く見つけられなかった）
- ・自分で網を使って取る方法を教えていただき、自信がついたように思います。
- ・小さな子供たちの体力や集中力に合わせてデザインされていて助かりました。
- ・バッタの種類など解説がわかりやすかった。

◆ 9月24日「家族で探そう！鳴く虫」

- ・自力では難しい虫を捕まえ、解説を聞くことができた。
- ・クイズ形式など子供が楽しく知ることができてよかったです。
- ・だんだん自分から動くようになったので、良い経験になったと思います。
- ・虫取りに行くとバッタしか捕まえられないのですが、昼間でも鳴く虫がいるということがわかり興味深かったです。

◆ 10月22日「家族で遊ぼう！ドングリ」

- ・どんぐりメダル工作で普段では見られない真剣な様子があった。とても楽しかったと言っていました。
- ・とても喜んでいました。普段はなかなか森に行くことがないので、珍しそうでした。
- ・前回より発言できるようになり、もっとどんぐりのことが好きになった様子だった。
- ・自然に触れるだけでなく、保育園以外の場所で年の近いことを遊ばせてあげられてよかったです。
- ・1時間の中で学び、体験遊びがあり、とてもよかったです。

◆ 11月26日「家族で遊ぼう！落ち葉」

- ・みんなで葉っぱを集めること、（普段）体験できないことができてよかったです。
- ・本日は長めの時間で葉の観察ができてよかったです。
- ・普通のところでなかなか体験ができない活動ができてとてもうれしいです。
- ・親も一緒になって参加できるのがよかった。

③導入型プログラム

今年度の導入型プログラムの定員に対する平均参加率は109%（前年度90%）となりました（表3－（3）－③－1）。また、プログラムへの参加が「はじめて」の参加者が48%（前年度55%）、「2回目」または「3回以上」の参加者が合わせて52%（前年度45%）となりました。新規の参加者とリピーターの参加者のバランスが良く、集客力があり、繰り返し参加したいと思えるような満足度の高いイベントが実施できた結果だと考えられます（図3－（3）－③－1）。

導入型プログラムの参加者の区内率は、区内が62%、区外が38%となっており、当公園は足立区民はもちろん、区外の方からも自然体験の場としての需要が高いことが伺えます（図3－（3）－③－2）。

今後も子どもから大人まで楽しんでもらえるよう、桑袋ビオトープ公園ならではのプログラムを実施していきたいと考えています。

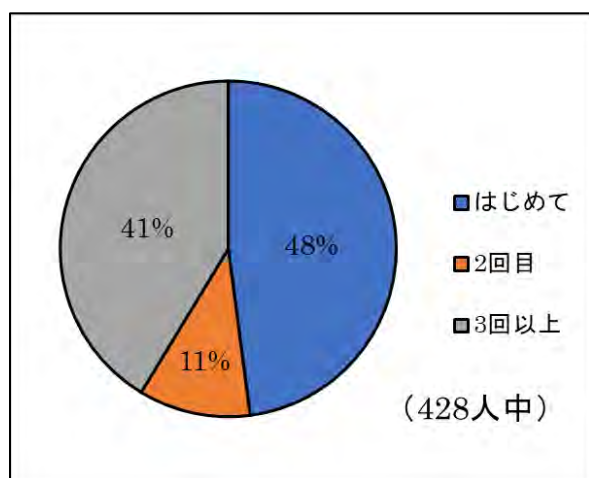


図3－（3）－③－1

導入型プログラムのリピート率

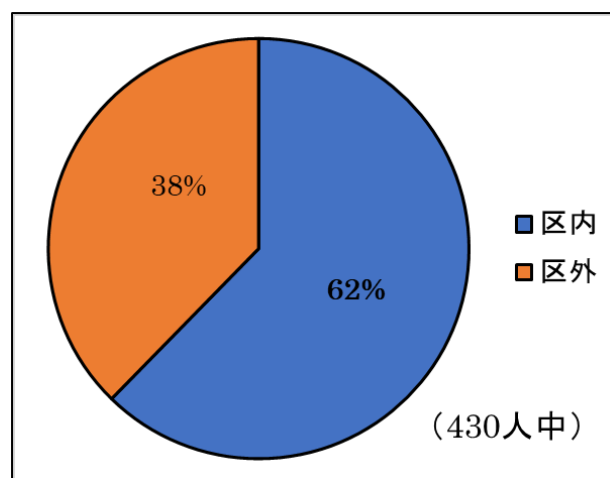


図3－（3）－③－2

導入型プログラム参加者の区内率

表 3 - (3) - ③ - 1 導入型プログラム参加状況

回数	実施日	プログラム名	参加者数			定員	回数	参加率(%)	区内	区外
			大人	子ども	計					
1	4月2日(日)	動き出した春の生きもの探し	10	10	20	20	2	100%	8	12
2	4月30日(日)	草花でデコパージュせっけん作り	14	21	35	20	3	175%	22	13
3	5月3日(水祝)	テントウムシのマグネット作り	18	18	36	20	3	180%	27	9
4	5月5日(金祝)	セイタカアワダチソウをひっこ抜け!	8	7	15	20	2	75%	7	8
5	5月21日(日)	ミジンコを探そう	11	13	24	20	2	120%	16	8
6	7月2日(日)	水辺の植物でリース作り	8	11	19	20	2	95%	12	7
7	7月9日(日)	はじめての虫の捕まえ方講座	10	14	24	20	2	120%	9	15
8	8月6日(日)	夏のセミ大調査	8	8	16	20	2	80%	4	12
9	8月13日(日)	夏のバッタ大調査	11	11	22	20	2	110%	14	8
10	9月3日(日)	めざせ!ザリガニマスター	10	14	24	20	2	120%	9	15
11	10月1日(日)	秋の昆虫大調査	10	14	24	20	2	120%	11	13
12	11月5日(日)	生きもの達のかくれ家を作ろう	10	11	21	20	2	105%	14	7
13	11月19日(日)	落ち葉でレジンのバッジ作り	11	13	24	20	2	120%	12	12
14	12月3日(日)	ガマの綿毛でクリスマス飾り作り	8	14	22	20	2	110%	15	7
15	1月7日(日)	生きもの達のかくれ家をのぞいてみよう	7	13	20	20	2	100%	18	2
16	1月14日(日)	気軽にバードウォッチング	3	3	6	20	2	30%	6	0
17	2月4日(日)	ヨシでつり下げチャイム作り	4	6	10	20	2	50%	8	2
18	2月11日(日)	ドロバチハウスを作ろう	4	10	14	20	2	70%	10	4
19	3月3日(日)	夏みかんのバスボム作り	14	16	30	20	3	150%	27	3
20	3月31日(日)	植物スタンプでカレンダー作り	14	16	30	20	2	150%	27	3
合計			193	243	436	400	43	109%	276	160
前年度(令和4年度)合計			160	198	358	400	41	90%	227	131

④ 発展型プログラム

今年度の発展型プログラムの定員に対する応募率は187%（前年度167%）と、前年度より多くなりました（表3－（3）－④－1）。参加率は85%（前年度86%）と前年度とほぼ同じになりました。参加者層としては、区内の方が77%（前年度72%）となり、引き続き足立区民の貴重な自然体験の場になっていることが伺えます（図3－（3）－④－1）。実施後に行ったアンケートを集計し、まとめました（表3－（3）－④－2）。その結果、参加者の満足度については、「とてもよかった」「よかった」と回答した参加者が100%と、全ての参加者に満足してもらえた結果となりました（図3－（3）－④－2）。また、リピート率は60%（前年度55%）となりました（図3－（3）－④－3）。前年度に引き続き高いリピート率となりました。

次年度は、引き続き「うき島池のかい掘り体験」、「池に入って生き物大調査」などの人気のあるイベントの継続とともに、新規のプログラムを行うことで、リピーターと新規の参加者ともに満足するプログラム作りを行います。

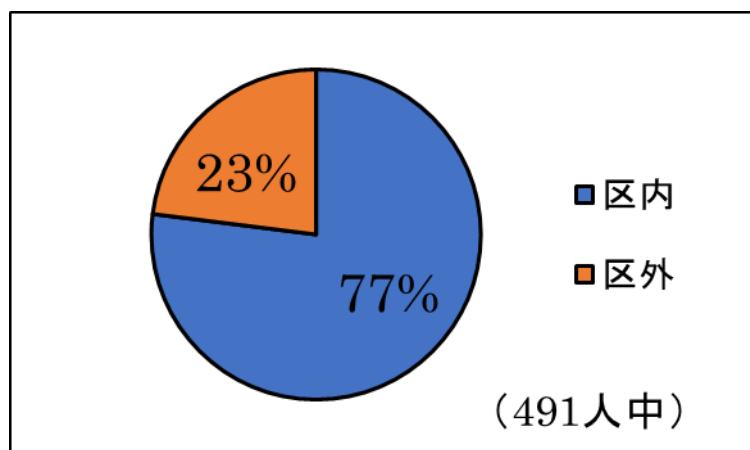


図3－（3）－④－1

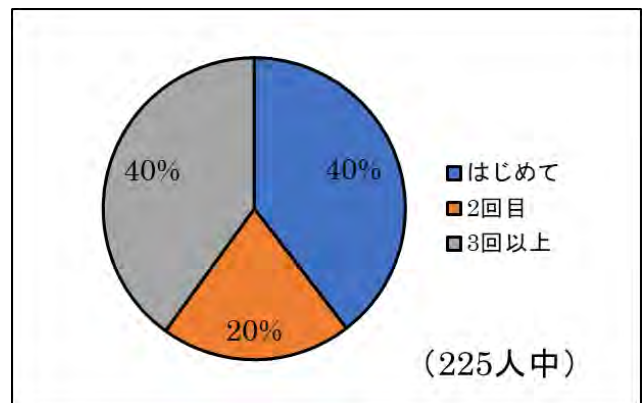
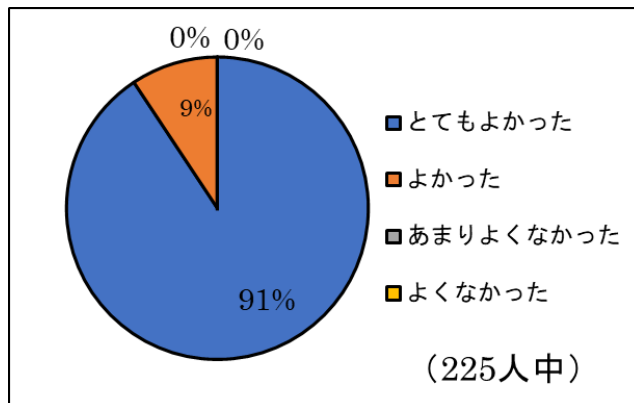
発展型プログラム応募者の区内率

表3－（3）－④－1 発展型プログラム応募状況および参加状況

回数	実施日	プログラム名	応募者数				応募率 (%)	参加者数			定員	参加率 (%)
			大人	子ども	不明	計		大人	子ども	計		
1	6月4日（日）午前	池に入って生きもの大調査	52	61	0	113	141%	34	40	74	80	93%
2	6月4日（日）午後											
3	6月11日（日）午前											
4	6月11日（日）午後											
5	7月30日（日）	公園の樹木で手ぬぐいを染めよう	14	9	0	23	115%	8	8	16	20	80%
6	8月19日（土）	うき島池でナイトボートクルーズ	43	42	0	85	531%	8	8	16	16	100%
7	8月20日（日）											
8	9月10日（日）	うき島池のかい掘り体験	44	54	0	98	196%	17	23	40	50	80%
9	10月8日（日）	泥んこハス掘り体験	49	54	1	104	173%	18	23	41	60	68%
10	10月9日（月）											
11	12月17日（日）	ガマの葉でランプ作り	14	16	0	30	150%	9	11	20	20	100%
12	1月28日（日）	たき火を囲んでお花炭作り	12	8	0	20	100%	12	6	18	20	90%
13	2月18日（日）	野鳥観察と野鳥のエコバッグ作り	9	9	0	18	90%	9	9	18	20	90%
計			237	253	1	491	187%	115	128	243	286	85%
前年度（令和4年度）計（計12回実施）			250	244	0	494	167%	124	124	248	290	86%

表 3 - (3) - ④ - 2 発展型プログラム実施後のアンケート結果

実施日	6月4日 6月11日	7月30日	8月19日 8月20日	9月10日	10月8日 10月9日	12月27日	1月28日	2月18日	
タイトル	池に入って 生き物大調査	公園の樹木 で手ぬぐい を染めよう	うき島池 でナイト ボートク ルーズ	うき島池の かい掘り 体験	泥んこ ハス掘り 体験	ガマの葉 でランプ 作り	たき火を 囲んで お花炭作り	野鳥観察 と 野鳥の エコバッ グづくり	合計
回答者人数	68	16	16	39	32	19	18	18	226
当公園のイベント参加回数									
はじめて	36	4	6	14	13	7	6	3	89
2回目	12	3	2	13	5	8	2	1	46
3回以上	20	9	8	12	14	4	10	13	90
無回答	0	0	0	0	0	0	0	1	1
イベントを知った理由（複数回答可）									
あだち広報	24	2	2	14	15	7	4	4	72
ニュースレター	32	1	14	17	6	3	4	8	85
イベントポスター・チラシ	0	9	0	0	0	6	7	1	23
スタッフから	0	0	0	4	0	0	0	0	4
公園ホームページ	5	1	0	4	5	1	2	4	22
足立区公式Facebook	1	0	0	0	0	1	0	0	2
ビオトープ公園公式SNS	0	0	0	1	1	0	0	0	2
その他	4	2	0	1	0	1	1	1	10
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	2
イベントの満足度									
とてもよかった	60	16	16	30	30	18	17	17	204
よかった	8	0	0	9	2	1	1	0	21
あまりよくなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0
よくなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	1	1
生物多様性に興味を持ったか									
はい	68	16	16	39	32	18	17	18	224
いいえ	0	0	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然や生き物を大切にしようと思ったか									
はい	68	16	16	39	32	19	18	18	226
いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0



発展型プログラム参加者アンケート結果（抜粋）

◆6月4日、11日「池に入って生きもの大調査」

- ・足立区にこんな体験があることを知らなかった。親は見守るだけかと思っていたが、子どもと一緒に体験ができて生物の生態系も知れて良かった。
- ・ザリガニとエビが多く、生物のピラミッドが崩れていることが分かった。
- ・池に入ったのは初めてで、思った以上に冷たく、いろんな生きものがいて驚いた。
- ・都内のイベントで自然と触れ合う機会があり、うれしく思った。

◆7月30日「公園の樹木で手ぬぐいを染めよう」

- ・外来種の定義は正確に分かりました。楽しかったです。
- ・実生という言葉を知りました。外来種についてもとても身近で驚きました。待ち時間に飽きさせないクイズ、タイムなどいつも運営が考えられているなど感心しきりです。ありがとうございました。
- ・豆乳で絵を描いて染めると、そこが濃くなること。身近な植物でも、染色ができること実生という意味を知りました。きれいに染まりました。

◆8月19日、20日「うき島池でナイトボートクルーズ」

- ・ウシガエルや虫、セミなどの生きものを見つけて観察できて、とても貴重な体験ができました。
- ・普段はなかなか見られない夜の水辺の生きものを見ることができとても楽しかったです。詳しい説明もしていただいてとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・夜の水辺には、昼間の水辺と違う生きものもいました。

◆9月10日「うき島池のかい掘り体験」

- ・どろんこイベントはとにかく何か楽しい。
- ・虫は嫌いでしたが、かいぼり中は楽しく触れました。
- ・あまりヘドロも深くないのにすごく歩きづらかったので、「池の水全部抜く」で悪戦苦闘をするのがよくわかりました。
- ・普段経験できないようなことだったので、息子と一緒に参加できて良かったです。

◆10月8日、10月9日「泥んこハス掘り体験」

- ・ハスの根は長くつながっているんだと実際に掘ってみて分かりました。
- ・レンコンから糸が出ているのにびっくりしました。ハスが長くて感動しました。この細い部分を折ってもレンコンの形で驚きました。
- ・普段は家でゲームをすることが多いので、今回のような体験を子供にできたことが良かったです。

◆12月17日「ガマの葉でランプ作り」

- ・普通は出来ないガマの葉でランプ作りをできたことが一番楽しかったです。ガマについても知ることができました。
- ・クイズの種についてのところで、「あれって種なんだ」って知れて良かったです。
- ・色々な工夫が出来て楽しかった。まっすぐな線なのに、いろいろなようにできて良かったです。

◆1月28日「たき火を囲んでお花炭作り」

- ・火起こしを一からできたこと、葉っぱの採集、缶への詰め込み作業、飾り付けなど一通りの作業を子供たちも体験できて、ものすごくいい勉強になりました。お花炭にすると葉っぱが青くなったり、銀色になったりするのにも驚きました。
- ・お花炭を知らなかったので作ってみて楽しかったし、焚き火もなかなかできないので体験できてよかったです。
- ・植物によって炭になった時の色が変わるのを初めて知りました。公園をよく見れば色々な素材があり、集めるのが楽しかったです。

◆2月18日「野鳥観察と野鳥のエコバッグ作り」

- ・身近な鳥の種類の多さを感じました。
- ・鳥をゆっくりじっくりみることができてとても楽しかったです。メジロもツグミもヒヨドリもオオバンも愛らしくてバッグの柄を選ぶのが大変でした。
- ・メジロの特徴がわかった。

⑤団体向けのプログラムの企画と実施

当公園では、校外学習をはじめとする学校等の団体の積極的な受け入れを行っています。

今年度の団体対応の実績は 161 回、5845 人でした。前年度に比べると対応回数は 36 回、対応人数は 3213 人の増加となりました（表 3－（3）－⑤－1）。小学校への出張授業や、中学校の職場体験の受け入れ、図書館など行政施設との連携プログラムを行いました（表 3－（3）－⑤－2）。

次年度も、積極的に団体の受け入れを行います。

表 3－（3）－⑤－1 団体対応・出張授業・職場体験の月毎の対応数

月	回数	人数		
		大人	子ども	計
4月	8	62	33	95
5月	12	122	93	215
6月	15	506	512	1018
7月	13	86	424	510
8月	16	57	39	96
9月	19	212	259	471
10月	20	140	159	299
11月	24	186	765	951
12月	5	30	126	156
1月	11	53	119	172
2月	8	142	131	273
3月	10	966	623	1589
計	161	2562	3283	5845
令和4年度	125	720	1912	2632

表 3－（3）－⑤－2 団体対応・出張授業・職場体験の内訳

項目	回数		人数			
			大人	子ども	計	
保育園・幼稚園	42	(37)	166	770	936	(825)
小学校（園内対応）	8	(13)	31	316	347	(816)
小学校（出張授業）	4	(5)	21	211	232	(400)
小学校（学校ビオトープ）	3	0	25	616	641	0
中学校（園内対応）	0	(1)	0	0	0	(5)
中学校（職場体験）	10	(4)	0	25	25	(16)
高校	6	(8)	6	0	6	(8)
大学	12	(9)	64	0	64	(45)
介護施設	50	(35)	416	77	493	(346)
養護学校	8	(5)	97	0	97	(42)
行政関係	2	(5)	28	6	34	(72)
活動団体	9	(3)	49	10	59	(57)
外国	0	0	0	0	0	0
出張 P R	7	0	1659	1252	2911	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	161	(85)	2562	3283	5845	(2632)

（ ）内は令和4年の数値

⑥小中学校等を対象とする職場体験の受け入れ

今年度は中学校の職場体験を述べ10回行いました（表3－（3）－⑥－1）。幼稚園対応や自然情報の解説ボード作りといった解説業務、外来種駆除や除草などの環境管理を体験してもらいました。職場体験を通じて、働くことの楽しさと大変さを感じてもらえたほか、自然や生きものに関わる仕事に関心を持ってもらうことが出来ました。

表3－（3）－⑥－1 職場体験の内容

回数	日時	学校名	対応者数		
			大人	子ども	計
1	9月12日（火） 9:30～15:30	足立区立第十三中学校	0	3	3
2	9月13日（水） 9:30～15:30		0	3	3
3	9月14日（木） 9:30～15:30		0	3	3
4	9月26日（火） 9:30～16:00	足立区立花保中学校	0	2	2
5	9月27日（水） 9:30～16:00		0	2	2
6	10月18日（水） 9:00～15:00	足立区立花畑北中学校	0	3	3
7	10月19日（木） 9:00～15:00		0	2	2
8	10月20日（金） 9:00～15:00		0	1	1
9	11月28日（火） 9:30～15:30	足立区立東綾瀬中学校	0	3	3
10	11月29日（水） 9:30～15:30		0	3	3
	計		0	25	25

⑦区内教育機関等を対象とする出張授業の企画と実施

今年度は小学校へのお出張授業を述べ7回行いました（表3－（3）－⑦－1）。対応を通して、生物多様性についての理解を深め、学校でのビオトープ作成等を学んでもらいました。

表3－（3）－⑦－1 出張授業の内容

回数	日時		学校名	実施プログラム	対応者数		
					大人	子ども	計
1	6月7日（水）	10:30～12:10	桜花小学校2年生	ダンゴムシを探そう	8	51	59
2	7月13日（木）	8:35～10:10	墨田区第二寺島小学校4・5年生	ビオトープ作り	5	162	167
3	7月19日（水）	13:00～13:45	六木小学校1・2・4年生	ビオトープを知ろう	10	230	240
4	9月29日（金）	10:45～12:20	花畑小学校2年生	畑の生きもの探し	4	54	58
5	10月3日（火）	10:30～12:00	桜花小学校2年生	ダンゴムシ博士になろう	7	53	60
6	11月10日（金）	13:00～14:45	六木小学校3・5・6年生	ビオトープを知ろう	10	224	234
7	11月28日（水）	10:30～12:00	桜花小学校2年生	ダンゴムシに触ろう	2	53	55
計					46	827	873

4 区民協働

(1) 公園ボランティアの育成・支援

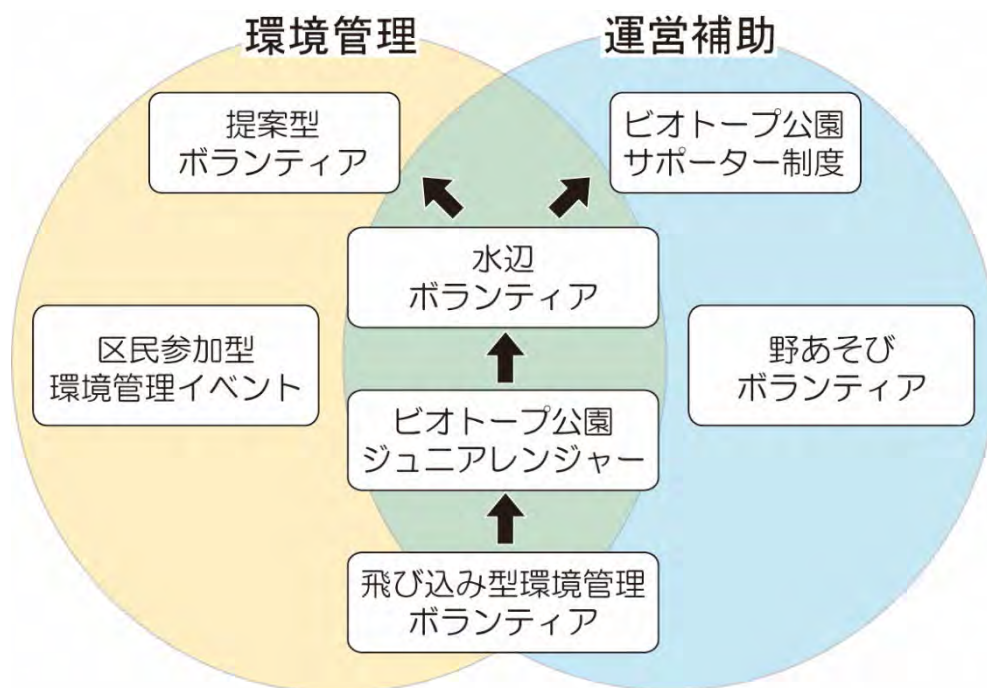


図4-(1)-①-1 区民協働型事業全体イメージ

表4-(1)-①-1 令和5年度 公園ボランティア登録者数及び参加人数

ボランティア名		人数
水辺ボランティア	6期生	2
	7期生	1
	8期生	10
野あそびボランティア		12
ビオレンジャー		3,817
提案型ボランティア	アクアドリームの会	2
	Teamアイリス	3
公園サポーター		9
飛び込み型環境管理ボランティア		10,172

① 水辺ボランティアの概要

水辺ボランティアは、多様な生物の生息空間を創出するため、水辺の環境管理を中心に行う活動です。7期生までの任期は5年で、はじめの2年間で活動に必要な知識を得るための講座を受講してもらい、その後の3年間で実際の管理活動を行います。8期生以降は講座1年、活動管理1年の2年任期に変更となりました。任期を終えた後は、水辺ボランティアの継続、提案型ボランティアへの合流、新規立ち上げ、公園サポーターへの登録、卒業といった選択肢があります。年間の活動計画は、ボランティア自身で立てた上で足立区と調整し、決定しています。

② 水辺ボランティア6・7期生

水辺ボランティア6期生は8年目の活動、7期生は6年目の活動となりました。6期生7期生合わせて3名での活動となりました（表4－（1）－①－1）。

ため池流末側の陸地部分を湿地エリアとしてゾーン分けを行い、ゾーン毎に景観の目標を立て、その目標に沿って活動を行いました（表4－（1）－②－1）。湿地エリアにアサザが生えるようにアサザの保護柵の作成や移植を行いました。また、ハンゲショウやミソハギが来園者にきれいに見えるように草刈り等の整備を行いました。その他に浮き島の整備、副産物の利用として刈草の裁断、堆肥の切り返しと袋詰めも行いました。

次年度、6・7期生は引き続き活動を行うこととなります。また、8期生10名が活動に加わる為、13名での活動予定となっています。人数が増えるにあたり、活動範囲を広げて活動計画を立て、管理作業を実施していきます。

表4－（1）－②－1 水辺ボランティアの参加状況

実施日	テーマ	参加人数		
		6期生	7期生	合計
4月8日	ボランティア調整会	1	1	2
5月13日	移植エリアの整備	1	0	1
5月20日	移植エリアの整備 水路の浚渫	1	0	1
6月10日	ハンゲショウ岸辺&ゾーン境界の刈込み 堆肥の切り替えし	1	1	2
6月17日	ザリガニの駆除 裁断 アサザの移植方法検討	1	1	2
7月8日	水辺の草原1・2の刈り揃え 堆肥の切り返し	1	1	2
7月15日	アサザ柵作成 アサザの移植	0	1	1
8月12日	水辺の草原1・2の刈り揃え 水路わきの草刈り アサザの手入れ 裁断 「うき島池のかい掘り体験」説明会	0	1	1
8月19日	ヨシの方針検討 ヨシの片付け 堆肥の切り替えし 「うき島池のかい掘り体験」説明会	1	0	1
9月10日	「うき島池のかい掘り体験」補助	1	1	2
9月16日	水辺の草原1・2の刈り揃え アサザの手入れ 裁断 「泥んこハス掘り体験」説明会	1	1	2
10月8日	「泥んこハス掘り体験」補助	0	1	1
10月9日	「泥んこハス掘り体験」補助	0	1	1
10月14日	ボランティア交流会	0	1	1
11月11日	うき島の整備	1	1	2
11月18日	うき島の整備	0	1	1
12月9日	活動のふりかえり①	0	1	1
12月16日	来年度活動計画作成	0	1	1
1月13日	来年度活動計画作成 枯草の刈り取り アサザの手入れ	0	1	1
1月20日	枯草の刈り取り	1	0	1
2月10日	枯草の刈り取り 堆肥の切り替えし	1	1	2
3月9日	堆肥の袋詰め 裁断	0	1	1
3月16日	アサザの整備、水路の浚渫②	0	1	1
計26回		13	21	34

③ 水辺ボランティア8期生

水辺ボランティア8期生は10名での活動となりました（表4－（1）－①－1）。「知る・考える」をテーマにビオトープ公園の管理に必要な調査法、管理法、チームワークについて月2回の講座を行いました（表4－（1）－③－1）。講座の欠席者には適宜振替講座を行いました。

次年度からは6、7期生と一緒に活動するために、今年度3月からOJTを行っています。

表4－（1）－③－1 水辺ボランティア8期生の参加状況

実施日	内容	参加人数
4月29日	ボランティア説明会	2
5月13日	ボランティア説明会	3
5月20日	ボランティア説明会	1
5月27日	ボランティア説明会	3
6月10日	ビオトープ公園を観察しよう	8
6月17日	ビオトープ管理概論	9
6月29日	ビオトープ管理概論（補講）	1
7月8日	身近な水辺の生きものを観察しよう	8
7月8日	身近な水辺の生きものを観察しよう（補講）	1
7月15日	身近な外来種問題	8
8月12日	水辺の管理概論	10
8月12日	水辺の管理概論（補講）	1
8月19日	水生植物の管理	9
9月10日	うき島池のかい掘り体験補助	9
9月18日	土の中の生物を観察しよう	10
10月8日	泥んこハス掘り体験補助	8
10月9日	泥んこハス掘り体験補助	5
10月14日	ボランティア交流会	7
11月11日	水質調査法	8
11月18日	循環型の公園管理	10
11月18日	水質調査法（補講）	2
11月23日	コミュニケーショントレーニングと合意形成	3
12月2日	コミュニケーショントレーニングと合意形成（補講）	5
12月16日	次年度の活動計画立案	7
1月13日	足立の自然史をたどる	10
1月20日	身近な野鳥を観察しよう	8
2月10日	危険予測・安全管理	9
2月17日	生物多様な公園づくり	9
3月9日	OJT	8
3月16日	OJT	9
計30回		191

④野あそびボランティア

今年度は前年度から継続した既存のボランティアと新規ボランティアを合わせた 12 人で活動を行いました（表 4－（１）－①－１）。

自然のあそび屋台での自然体験プログラムの実施、公園の出張 PR の補助といった活動を行いました。自然のあそび屋台のプログラムは、ボランティア同士で意見を出し合って内容を決めました（表 4－（１）－④－１）。

また、10 月から新規野あそびボランティアを募集し、3 名が養成講座を受講しました。3 名とも養成講座の内容確認のための最終テストに合格し、野あそびボランティアの活動に参加をする事となりました（表 4－（１）－④－２）。

来年度も引き続き新規ボランティアを募集していく予定です。

表４－（１）－④－１ 野あそびボランティア活動実績

回数	月日	曜日	実施内容	活動人数
1	4月7日	金	調整会準備	1
2	4月8日	土	ボランティア調整会	5
3	4月9日	日	自然のあそび屋台	5
4	4月16日	日	自然のあそび屋台	3
5	4月23日	日	自然のあそび屋台	3
6	5月4日	木	自然のあそび屋台	1
7	5月7日	日	自然のあそび屋台	4
8	5月14日	日	プログラムミーティング	2
9			自然のあそび屋台	3
10	6月4日	日	しょうぶまつり出張PR補助	2
11			しょうぶまつり出張PR補助	1
12	6月18日	日	自然のあそび屋台	6
13	7月17日	月祝	自然のあそび屋台	6
14	8月11日	金祝	自然のあそび屋台	6
15	9月18日	月	自然のあそび屋台	3
16	10月15日	日	自然のあそび屋台	3
17			都市農秋の収穫祭出張PR補助	2
18	10月29日	日	自然のあそび屋台	5
19	11月3日	金	自然のあそび屋台	3
20	11月12日	日	自然のあそび屋台	4
21	11月23日	木	自然のあそび屋台	2
22	12月10日	日	プログラムミーティング	6
23			自然のあそび屋台	6
24	12月24日	日	自然のあそび屋台	4
25	1月8日	月	自然のあそび屋台	3
26	1月21日	日	自然のあそび屋台	5
27	2月12日	月	自然のあそび屋台	4
28	2月23日	金	自然のあそび屋台	5
29	2月25日	日	自然のあそび屋台	3
30	3月10日	日	自然のあそび屋台	4
31	3月17日	日	プログラムミーティング	9
32			自然のあそび屋台	9
33	3月20日	水	自然のあそび屋台	4
34	3月23日	土	舎人公園千本桜まつり出張PR補助	3
35	3月24日	日	舎人公園千本桜まつり出張PR補助	3
36			自然のあそび屋台	4
計36回				142

表４－（１）－④－２ 野あそびボランティア養成講座実績

回数	月日	曜日	実施内容	活動 人数
1	10月21日	土	野あそび講座 説明会	2
2	10月28日	土	野あそび講座 説明会	1
3	10月28日	土	養成講座「公園と周辺の自然」	3
4	11月11日	土	養成講座「解説の基礎」	3
5	11月25日	土	養成講座「解説におけるコミュニケーション」	2
6	12月9日	土	養成講座「プログラム作成・安全管理」	3
7	12月22日	金	養成講座「プログラムの実践」	1
8	12月23日	土	養成講座「プログラムの実践」	2
9	12月28日	木	養成講座「解説におけるコミュニケーション」	1
10	1月13日	土	養成講座「合意形成トレーニング」	1
11	1月20日	土	養成講座「合意形成トレーニング」	1
12	1月26日	金	養成講座「合意形成トレーニング」	1
13	1月27日	土	養成講座「ステップアップテスト」	2
14	1月30日	火	養成講座「ステップアップテスト」	1
計14回				24

⑤ビオトープ公園ジュニアレンジャー（ビオレンジャー）

ビオトープ公園ジュニアレンジャー（以下ビオレンジャー）は、登録した子どもにスタンプカードを作成し、体系的な自然体験プログラムであるレンジャー活動を行うごとにスタンプがたまる仕組みです。レンジャー活動の詳細については表4-(1)-⑤-1をご覧ください。ビオレンジャーにはレベルを設定しており、一定個数スタンプがたまると、記念品をもらえるとともに、レベルをアップさせるためのテストを受けることができます。シルバーレンジャー以降のレベルアップのためには、スタンプに加えて鳥探しやサンクチュアリ探検といったレベルアップチャレンジを受ける必要があります。これにより、公園の事業に対する子どもの参加意欲を高めるとともに、公園利用時のモラルを育成することができました。

今年度はビオレンジャー登録者数が3817人になり、前年度と比較して115人増加しました（表4-(1)-⑤-2）。今年度は卒業によりシルバー、ゴールドレンジャーが総数としては減りましたが、最高レベルであるプラチナレンジャーが1人増えました。

年齢制限があるため、シルバー以降のレンジャーはグリーンに比べて少ないですが、継続して活動をするモチベーションのある子どもの人数を増やす為に、新しい仕組みの策定や改訂、運用を進めていく予定です。

表4-(1)-⑤-1 ビオレンジャー活動一例

	活動タイトル	活動内容
自然 しらべ	虫取り網を使った生き物調べ	虫取り網を使って、昆虫を採取・観察する。
	ザリガニ調べ	アメリカザリガニを捕獲し、数を記録する。
	冬越しの生きものしらべ	ハラビロカマキリの卵の数などをカウントする。
	うき島池の鳥しらべ	ため池に来る冬鳥の種類、数をカウントし、記録する。
解説員 の仕事 体験	飼育生物のエサ探し体験	館内で飼育している生物のエサとなる虫や草を採取する。
	飼育生物のエサやり体験	館内で飼育している水生生物にエサをあげる。
	クラフト素材集め体験	プログラム等で利用するクラフトの材料となる木の実などを採集する。

表4-(1)-⑤-2 ビオレンジャー登録者数

レベル	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年比
グリーン	2878	3316	3,159	3,620	3,743	+123
シルバー	82	76	49	67	65	-2
ゴールド	26	21	14	15	8	-7
プラチナ	3	3	1	0	1	+1
総計	2,989	3,416	3,223	3,702	3817	+115

⑥提案型ボランティア制度

提案型ボランティアは、水辺ボランティア修了者がビオトープ公園の管理、運営に関わる自主的活動を提案し、活動として作り上げることでできる制度です（表４－（１）－①－１）。今年度は、アクアドリームの会、Teamアイリスの2団体が活動を行いました。

今年度から新規水辺ボランティアが卒業する令和7年3月まで特例として、提案型ボランティア1人での活動が可能になりました。また、提案型ボランティア1人での活動の際は、スタッフ1人以上と活動しました。

・アクアドリーム（活動９年目）

水辺ボランティア3期生修了者で立ち上げた「アクアドリーム」が、2名で9年目の活動を行いました（表４－（１）－①－１）。ため池の水生動植物の生息環境を改善する事を目的に、ため池の池底に沈殿した落ち葉やヘドロの除去を実施しました。また、9月と3月にはヘドロの堆積調査を実施しました（表４－（１）－⑥－１）。

次年度も「アクアドリーム」の活動を継続して実施します。

表４－（１）－⑥－１ 提案型ボランティア「アクアドリーム」参加状況

実施日	テーマ	参加人数
4月22日	ため池の落ち葉やヘドロの除去	1
5月6日	ため池のヘドロの除去	1
6月3日	ため池のヘドロの除去	1
8月26日	ため池のヘドロの除去	1
9月2日	ヘドロの堆積調査	1
10月7日	ため池のヘドロの除去	1
11月4日	次年度の活動企画書作成	1
1月27日	ため池の落ち葉やヘドロの除去	1
2月3日	調整会資料確認、ため池の落ち葉やヘドロの除去	1
3月2日	ヘドロの堆積調査	1
計10回		10

前年度（令和4年度）	
計1回	1

・Team アイリス（活動7年目）

水辺ボランティア4期生修了者で立ち上げた「Teamアイリス」が、3名で7年目の活動を行いました（表４－（１）－①－１）。

ため池のデッキ周辺の景観改善を目的に、カキツバタの管理作業を行いました。具体的にはカキツバタの花がら摘み、水に浸かりそうな葉の刈り取り、枯れ葉の除去などを行いました（表４－（１）－⑥－２）。副産物はサンクチュアリに運搬しました。また、カキツバタのないため池の箇所への移植作業も行いました。

次年度も「Team アイリス」の活動を継続して実施します。

表4－(1)－⑥－2 提案型ボランティア「Team アイリス」参加状況

実施日	テーマ	参加人数
4月8日	ボランティア調整会	1
4月29日	花のカウント、花がら摘み、雑草の除去	1
5月6日	花のカウント、花がら摘み、倒れたカキツバタの除去	2
5月27日	雑草・枯れ葉・倒れたカキツバタの除去	2
7月22日	花がら摘み、種の回収、枯れ葉の除去	2
8月6日	種の回収、枯れ葉・雑草の除去	2
9月23日	移植用カキツバタの確保、枯れ葉・枝の除去	3
10月28日	移植用カキツバタの確保、枯れ葉・雑草の除去	2
11月25日	落ち葉の除去	3
12月16日	落ち葉・枯れ葉の除去	1
1月27日	今年度の振り返り、次年度の計画書作成	3
3月2日	枯れ葉の除去、移植、土留め補修	3
3月16日	ボランティア調整会準備、次年度の打ち合わせ	2
計13回		27

前年度（令和4年度）	
計9回	25

⑦ビオトープ公園サポーター制度

ビオトープ公園サポーター制度は、公園に関わりたい気持ちを持つ水辺ボランティア修了者が、自分の都合に合わせて活動に参加できる制度です。

今年度は、樹名板の設置、当公園の水辺の環境管理イベントにおけるの補助や、園内でのセイタカアワダチソウなど外来種の管理作業を行いました（表4－(1)－⑦－1）。

表4－(1)－⑦－1 ビオトープ公園サポーター参加状況

	実施日	テーマ	参加人数
1	5月2日	樹名板の作成	1
2	5月10日	樹名板の作成	1
3	5月13日	セイタカアワダチソウの抜き取り・炭洗い	1
4	5月16日	樹名板の作成	1
5	5月23日	樹名板の作成	1
6	5月30日	樹名板の作成	1
7	6月28日	樹名板の作成	1
8	9月10日	うき島池のかい掘り体験補助	1
9	9月16日	ハス掘り体験説明会	1
10	9月30日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
11	10月8日	泥んこハス掘り体験補助	1
12	10月9日	泥んこハス掘り体験補助	1
13	10月25日	樹名板の作成	1
14	11月16日	樹名板の作成	1
15	1月20日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
16	2月17日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
全16回			16

⑧ 飛び込み型環境管理ボランティア

本活動は、公園利用者なら誰でも参加できる活動で、利用者に園内の環境管理の一端を担ってもらうものです（表４－（１）－①－１）。具体的には、「ザリガニ調べ」、「虫とり網を使った生き物調べ」の２種類の活動を行い、延べ 10,172 人（前年度 9,408 人）が参加しました（表４－（１）－⑧－１）。

本活動は当公園の特色ある活動であり、次年度も継続して実施します。

表４－（１）－⑧－１ 飛び込み型環境管理ボランティア参加状況

活動名	参加者数			
	大人	小人	バイオレンジャー	合計
ザリガニ調べ	3187	2414	2461	8062
虫とり網を使った生き物調べ	485		1625	2110
合計	3672	2414	4086	10172

・ザリガニ調べ

ザリガニ調べは、園内の水辺で増えすぎた外来種のアメ리카ザリガニの数を減らすことを目的とした活動です。受付をした参加者に必要な道具を貸し出し、園内の水辺でアメ리카ザリガニを釣ってもらいます。釣れたアメ리카ザリガニは全て解説員が受け取り、足立区生物園へ搬送して飼育生物のエサや、ふれあいに利用してもらいました。今年度は、延べ 8,062 人（前年度 7,292 人）が参加しました。アメ리카ザリガニの駆除数については、「生物管理 P.48」をご覧ください。

・虫とり網を使った生き物調べ

虫とり網を使った生き物調べは、参加者に園内の生物多様性を実感してもらうとともに、園内の生き物のデータを集めることでモニタリングの精度の向上を目的とした活動です。受付をした参加者に虫とり網を貸し出し、園内で生き物をとってもらいます。とれた生き物は観察した後、園内に逃がしてもらいました。今年度は、延べ 2,110 人（前年度 2,116 人）が参加しました。

⑨区民参加型環境管理イベント

園内の環境管理の一端をイベント参加者に担ってもらうことで、環境管理の必要性を伝えるための活動です。今年度は、「うき島池のかい掘り体験」「泥んこハス掘り体験」「公園の樹木で手ぬぐいを染めよう」「ガマの葉でランプ作り」の４つのイベントを実施しました。

次年度も環境管理の要素を取り入れたプログラムを積極的に実施します。

5 広報活動

(1) 当公園に関する情報発信と情報収集

今年度はアメリカザリガニが条件付き特定外来生物に指定されたことにより都内でザリガニ釣りができる公園として、新聞、雑誌、Web サイトなどのメディアの取材を受ける機会がありました。また、こちらから発信したイベント情報が掲載された新聞や Web サイトを中心に、情報収集を行いました（表 5－（１）－⑧－１）。

次年度も各種メディアに取り上げていただけるよう、地域メディアや報道広報課との連携をはかり、効果的なプレスリリース文の作成などを積極的行います。

表 5－（１）－１ 新聞・雑誌・ＴＶ・Web サイトなどへの掲載一覧

	掲載報道機関名	報道日	内容
主 な 報 道	あだち広報	毎月10日、25日	イベント案内
	花畑地域学習センター「フレンズ」	毎月1日	イベント案内
	足立区公式HP	毎月	NL掲載
	足立区公式Twitter	毎月	NL掲載
	足立区観光交流協会HP	毎月	イベント案内
	足立朝日	4月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「草花でデコパージュせっけん作り」
		5月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」
		6月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「ちびっこ自然体験」
		7月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「公園の樹木で手ぬぐいを染めよう」
		8月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」
		9月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「泥んこハス掘り体験」
		10月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」
		11月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「落ち葉でレジンのバッジ作り」
		1月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「気軽にバードウォッチング」
		2月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「ドロバチハウスを作ろう」、「野鳥観察と野鳥のエコバッグ作り」
		3月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「植物スタンプでカレンダー作り」
そ の 他 の 報 道	毎日新聞「ウェブサイト、ヤフーニュ	5月23日	外来生物関連記事
	NHK「おはよう日本」	5月31日	アメリカザリガニの条件付特定外来生物指定についての取材
	NHK「首都圏ネットワーク」	6月1日	ザリガニ釣りについての取材
	テレビ朝日 ABEMA NEWS「ABEMAのニュースショー」	6月3日	アメリカザリガニについての取材
	サンサンキッズTV	8月11日	虫捕り、ザリガニ釣りの紹介
	Snow Man チャンネル	11月1日	ザリガニ釣りの紹介

(2) 印刷物による情報発信（ニュースレター、ポスター、チラシ）

イベント案内とビオトープに関する普及啓発を兼ねたニュースレターを発行し、近隣小学校 3 校への全児童配布の他、区内の様々な施設への配布、隣接する草加市や八潮市の公共施設への配布を行いました（表 5－（２）－１）。

表 5－（２）－１ ニュースレター発行回数と部数

号数	発行日	発行部数
NL5月号	2023年 4月10日	5,000 部
NL6月号	2023年 5月2日	5,000 部
NL7月号	2023年 6月3日	5,000 部
NL8・9月合併号	2023年 7月1日	6,000 部
NL10月号	2023年 8月30日	5,000 部
NL11月号	2023年 10月5日	5,000 部
NL12月号	2023年 10月27日	5,000 部
NL1月号	2023年 11月29日	5,000 部
NL2月号	2024年 1月4日	5,000 部
NL3月号	2024年 2月2日	5,000 部
NL4月号	2024年 2月28日	5,000 部
計11回		56,000 部

表5－（2）－2 ニュースレター掲載内容

掲載面	項目	内容
表	イベント情報	発行月の発展型イベント、導入型イベント、自然のあそび屋台、ちびっこ自然体験の実施内容を掲載。
	4コマ漫画	公園に関係する内容で、楽しそうな雰囲気が出るよう表面に掲載。
裏	公園のみどころ紹介	発行月に見られるであろう、公園のとおきの自然情報を掲載。
	ピオトープ生き物図鑑	発行月に見られるであろう生き物を1種掲載。
	ボランティア日記	水辺ボランティア、提案型ボランティア、野あそびボランティアの活動報告を掲載。

（3）Web サイト等インターネットを活用した情報発信

Web サイトに関する業務として、公園 Web サイトの運用、Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram の運用を実施しました。

・Web サイトの運用

Web サイトの更新頻度は週に1回以上としました。具体的には「イベント情報」や「ボランティア活動報告」、「NL」を毎月更新し、自然の見どころを紹介する「桑袋ナウ」を週1回更新しました。その他、オオガハスの花が見られる時期（6月30日から8月16日）には「オオガハスナウ」を週1回更新し、オオガハスの写真及び見られた花とつばみの数を掲載しました。

トップページでは、更新情報を掲載するとともに、その時期の自然の見どころなどの来園につながりそうな情報や、開園時間の変更、新型コロナウイルスに関するお知らせ等、公園利用者へのお知らせを不定期に掲載しました。

表5－（3）－1にWeb サイトユーザー数の推移を示しました。2020年度～2022年度のコロナ禍は、それ以前と比較して野外で遊ぶ、自然に関わるイベントを行う公園に対しての需要の増加に伴い、ウェブサイトのユーザー数は増加傾向にありましたが、今年度はその傾向が無くなってきた様子でした。その中でも、6月のアメリカザリガニの条件付特定外来への指定に伴うニュース番組への出演、8月のサンサンキッズTV（ユーチューブチャンネル）での出演、11月のsnow（ユーチューブチャンネル）での出演の月に、ユーザー数が例年と比較して増加しました。

次年度は、新規の利用者が必要な情報を得やすいページ作りを意識して、更新作業とWeb サイト作成を行います。

表5－（3）－1 Web サイト過去5年間の月間ユーザー数推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間ユーザー※	計測方法
2019	369	1,434	1,332	1,226	1,060	2,649	1,268	512	593	916	1,022	1,138	13,453	UAユーザー
2020	1,437	2,532	2,473	2,677	2,606	2,010	1,321	1,062	713	947	1,249	1,105	18,710	
2021	1,803	3,029	2,534	2,534	2,090	1,817	1,329	1,286	862	958	839	1,211	19,106	
2022	1,789	3,101	2,478	2,575	2,131	1,822	1,469	1,169	768	900	880	1,161	19,284	
2023	1,468	1,911	3,135	1,945	2,822	2,185	1,963	3,970	1,066	969	959	1,190	22,677	GAユーザー

※年間ユーザーは各月の合計ではなく、該当年間で利用したユーザーの総数です。

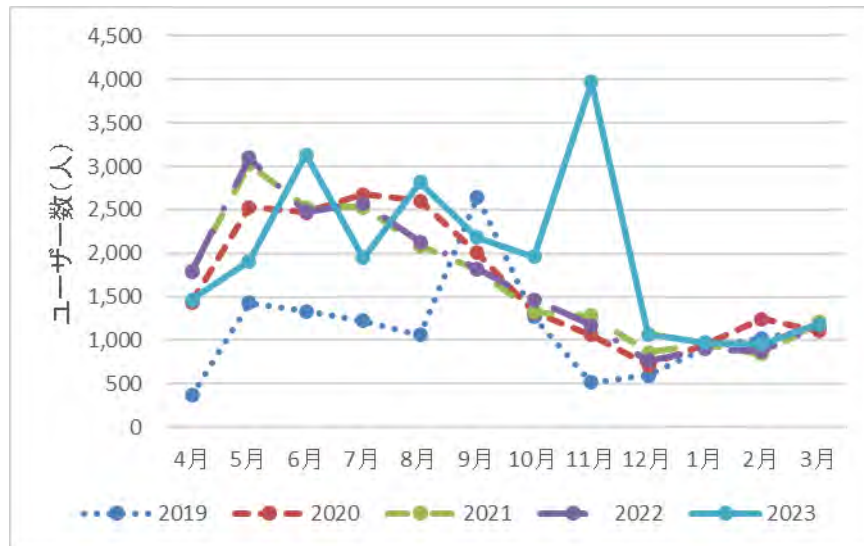


図5－（3）－1 過去5年間の月間ユーザー数

・Facebook の運用

Facebook では、イベントの告知、実施報告、桑袋ナウ等を週に2回程度掲載しました。フォロワーは3月31日時点で170人となり、前年度と比較して7人の増加となりました。前年度までと比較し、フォロワーの増加数の減少があり、公園に実際来園する層とFacebook利用者の層が離れてきていると考えられます。次年度は、今年度と同様に、イベントの告知、実施報告や桑袋ナウなどの読み物となる発信を行い、実際に公園に頻繁に来ることができなくても、公園の様子が分かり、楽しめる投稿を発信します。

・X（旧 Twitter）の運用

X（旧 Twitter）では、イベントの告知、公園の自然情報、その他お知らせ等を週に2～3回程度掲載しました。フォロワーは3月31日時点で244人となり、前年度と比較して50人の増加となりました。フォロワーは増加していますが、投稿への反応は減少傾向にあります。今年度は、各種SNSごとに投稿内容を分ける運用を開始したことで、X自体の投稿頻度が減少したためと考えられます。次年度は、今年度と同様に発信を行うとともに、発信の頻度を増やせる運用を行います。

・Instagram の運用準備

公園の主な利用者層である未就学児～小学校低学年の親子向けに、公園の魅力や開催イベントを知ってもらうため、Instagramの運用を4月19日から開始しました。フォロワーは3月31日時点で110人となりました。投稿は、イベントの告知、実施報告、桑袋ナウや公園の自然情報、その他お知らせを週に3回程度掲載しました。次年度は、今年度と同様に、視覚に訴える投稿を意識して、公園の周知に繋がるような運用を行います。

(4) 園外での PR 活動

今年度は、「しょうぶまつり」など計 5 つのイベントに出展し、公園の PR 活動を行いました（表 5－（4）－1）。

全ての出張 PR でパネルによる公園紹介を行い、それに加えてしょうぶまつりや梅まつりでは草花ステンシル、自然体験デーではザリガニ釣り、秋の収穫祭ではハスの実チャーム作りといったプログラムを行いました。これにより、多くの来場者に当公園のブースに足を運んでもらえたのと同じ時に、ビオトープ公園で体験できるプログラムにも興味をもってもらうことができました。来場者からは、「公園を知っているものの、実際に行ったことはないので今度行ってみたい」という声も多く聞かれました。今後も積極的に園外での PR 活動を行い、情報発信を行います。

表 5－（4）－1 ビオトープ公園サポーター参加状況

実施日	園外PR活動内容	場所	対応者数		
			大人	子ども	計
6月4日	しょうぶまつり	しょうぶ沼公園	389	387	776
9月16日	自然体験デー	新田わくわく♡水辺広場	135	169	304
10月15日	秋の収穫祭	都市農業公園	31	23	54
11月4日	ふれあいまつり	花畑地域学習センター	56	78	134
2月25日	梅まつり	大谷田公園	112	71	183
3月23日	千本桜まつり	舎人公園	293	224	517
3月24日			643	600	1243

6 維持管理業務

(1) 巡回点検

・ 日常点検

日常点検は、開園日の開園前と午後に1回ずつ実施しました。園内を歩いて周り、危険物や危険箇所の有無、園路やベンチといった入園者の利用箇所の安全確認を行いました(表6-(1)-1)。

表6-(1)-1 巡回点検の月別実施回数

作業名	月別実施回数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日常点検	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	25	27	309

(2) あやせ川清流館の管理

あやせ川清流館の管理を必要に応じて実施しました。主に、風除室の冊子やチラシ、ポスター、パンフレットの設置と撤去、消耗品の交換を行いました(表6-(2)-1)。

表6-(2)-1 あやせ川清流館の管理の月別実施回数

作業名	月別実施回数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
冊子、チラシ、ポスター設置	14	20	13	20	16	20	17	20	13	8	11	17	189
資源ゴミ廃棄準備	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
大掃除	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
机高さ調整	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
コンセントタップ清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
アルコール補充	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
年末閉園作業	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
閉館時間変更作業	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
定期清掃準備	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
定期清掃立ち会い	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
定期清掃片付け	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
点検(防火、空調)	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 緊急作業

緊急作業として台風などの強風対策と光化学スモッグ注意報の掲示を行いました(表6-(3)-1)。

表6-(3)-1 緊急作業の月別実施回数

作業名	月別実施回数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
強風対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強風後点検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
光化学スモッグ注意報掲示	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
シルバー詰所屋根の撤去	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
シルバー詰所屋根の復旧	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
台風被害状況の確認	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
台風被害復旧作業の立会い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雪対応	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

（４）その他の維持管理作業

その他の維持管理作業としては、入園者が安全に公園を利用できるよう、必要に応じて管理作業を行いました。主に、柵の簡易修繕、その作業に必要な材料の準備、非公園利用者による駐車場利用の対応、アースミラプ発泡錠の散布、年末年始の長期休園前の施錠の最終点検などを行いました。また、必要に応じて害虫点検とその駆除を行いました（表６－（４）－１）。

表６－（４）－１ その他の維持管理作業の月別実施回数

作業名		月別実施日数												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
修繕	ハス田柵	3	2	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	10
	土留め補修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ドロバチハウス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	木製柵	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	解説板	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	堰板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	エコスタック関係	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	アケビの支柱修繕	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	柵の作成	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4	0	0	12
	堆肥場作成	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	3	6	15
	南京錠オイル差し	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ボルト締め	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
設置	注意看板	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	盗難シール貼り付け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バック駐車掲示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年末年始休園案内の掲示	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	解説版	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
駆除	アシナガバチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コガタスズメバチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ミノウスバ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヒロヘリアオイラガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	タケノホソクロバ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	チャドクガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機器点検	刈払い機点検メーカー持ち込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	刈払い機点検見積	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	芝刈機点検整備対応	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	芝刈機点検見積	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	剪定トリマー修繕見積、メーカー持ち込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洗濯機修理対応	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	AEDパッド交換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	堰板交換立ち合い	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
車関係（車検、ドライブレコーダー設置）		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	5
園内放送		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
募金用種の補充		7	9	4	5	6	5	3	6	0	3	3	4	55
募金用種の発注		1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
駐車場対応		0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
アースミラプ発泡錠の散布		0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	6
うき島池給水準備		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
堰板の抜き取り		0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	5
堰板の復旧		0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	4
ハス田堰き止めの復旧		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取水ポンプの清掃、点検、修繕		0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
スロープの清掃		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水飲み場清掃、目印		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
土入れ		0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	4
掃除（倉庫整理、廃材裁断、不燃ごみ、巣箱）		1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	4
こも巻き設置、撤去、掲示物設置		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他（碎石除去、剪定ばさみ修理）		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

7 危機管理

(1) 危機管理の概要

桑袋ビオトープ公園の利用者、スタッフの危機を未然に防止するとともに、事故が発生した場合に被害を最小限に止めるという考えのもと危機管理を行いました。具体的には PDCA サイクルに則って事故予防、事故の適切な対応、事後検証、見直しを行いました（図 7－（１）－１）。また、必要に応じてスタッフの教育・訓練を行いました。

これらの取り組みにより、今年度は大きな事故やケガ等は発生しませんでした。

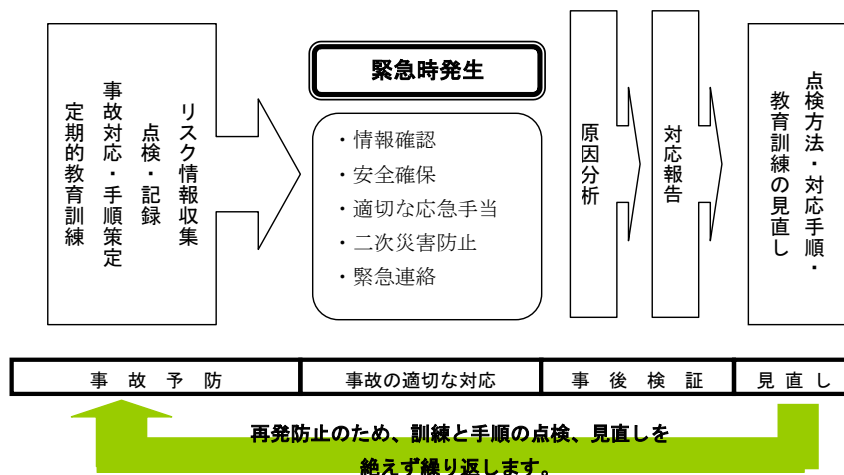


図 7－（１）－１ 安全管理のPDCAサイクル

(2) 安全管理マニュアルの作成

園内の安全管理に関わる各種情報を集約した安全管理マニュアルを作成しました。内容としては緊急時の行動フローや緊急連絡先、時期ごとに抽出したリスクと対処法等を掲載しました。

園内で発生したケガなどについて対処をするとともに事故記録表を作成し、園内の危険箇所などの情報収集にも役立てました。

毎月のミーティングにおいて研修として事象ごとのシミュレーションを災害対策と合わせて行いました。

次年度も、常に見直しをしながら運用します。

(3) 災害対策マニュアルの作成

大規模な地震や火災等を想定し、その場合の対処等に関する情報を集約した災害対策マニュアルを作成しました。内容としては、避難経路や具体的なスタッフの動き、連絡体制等を掲載しました。

また、災害発生時の当公園の果たすべき役割を足立区と協議し、決定した事柄を盛り込んだマニュアルの改訂を行いました。

毎月のミーティングにおいて研修として事象ごとのシミュレーションを安全管理と合わせて行いました。

次年度も、必要に応じて見直ししながら運用します。

(4) 個人情報の保護

個人情報の保護に関する研修を3か月に1回ミーティングにおいて行いました。実施状況は月間報告書にて報告しました。

8 環境管理

(1) 環境管理計画の作成と環境管理

①環境管理計画の作成と報告

当公園は都市公園という性質上、「ビオトープ」であると同時に「公園」であることが求められます。そのため園内を大きく「都市公園ゾーン」と「ビオトープゾーン」に二分し、それぞれのゾーンで適した管理を行いました（図8-(1)-①-1）。

都市公園ゾーンでは、公園利用者にとって魅力的かつ安全に利用できることを優先させた管理計画を作成しました。また、ビオトープゾーンでは、多様な生き物の生育、生息に重点を置く必要があります。単一的ではなく多様な環境や植生区分がモザイク状に配置されることが理想的です。そのためビオトープゾーンを、さらに細かくゾーニングし、それぞれに目標とする自然状態を設定し、環境管理計画を作成しました（図8-(1)-①-2）。

また、モニタリング調査を行い、上半期報告書と年間報告書をそれぞれ作成し、環境の変化や現状についてまとめました。詳細はモニタリング報告書をご確認ください。



図8-(1)-①-1 桑袋ビオトープ公園 環境管理ゾーニング
(ビオトープゾーン・都市公園ゾーン)



図8-(1)-①-2 桑袋ビオトープ公園 環境管理ゾーニング

②動植物のモニタリング

ビオトープ公園の環境がどのように遷移しどのような生き物が定着するかを把握するとともに、環境管理の効果測定を行うため継続的なモニタリング調査を実施しました(表8-(1)-②-1)。調査結果は適正な環境管理に活かすと共に、インタープリテーション活動を展開するための貴重な情報として利用することができました。モニタリング調査の詳細については「桑袋ビオトープ公園モニタリング調査年間報告書(令和5年度)」をご覧ください。

調査地 : ①園内(ゾーン別)、②周辺水域(綾瀬川、毛長川、伝右川)

調査時期 : 令和5年4月～令和6年3月

調査内容 : ①ビオトープ定点写真調査

②生物相調査

(植物相調査、動物相調査、生物層調査)

③相対照度と気温調査

表 8 - (1) - ② - 1 令和 5 年度 動植物のモニタリング調査回数

調査項目		調査対象 地点数	調査手法	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
ビオトープ定点写真		30箇所	ゾーン毎に定点撮影	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
植物相	木本	園内全域	ゾーン毎に毎木調査（種名、形状寸法）、マッピング								1		3	1	3	8
	草本	園内全域	ゾーン毎に全域を踏査し、種名を記録、目視調査		1		1		1		1		1		1	6
	草本群落	園内全域	ゾーン毎に全域を踏査（種名、面積）、マッピング		2			3			1			1		7
動物相	鳥類	園内全域	ゾーン毎にラインセンサス法（出現種、行動）、目視調査		1		1		1		1		1		1	6
	昆虫	園内全域	ゾーン毎に捕獲調査（捕虫網）、目視調査		1		1		1		1		1		1	6
	哺乳類	園内全域	フィールドサイン調査、目視調査	日常業務内で適宜実施												
	魚類	水辺ゾーン	捕獲調査、目視調査（カゴ罟、うき島池のかいぼり時）						1							1
	両生類	園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												
	爬虫類	園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												
	水生生物	水辺ゾーン	捕獲調査、目視調査（カゴ罟）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	その他	園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												
				日常業務内で適宜実施												
生物層調査(100選)		園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												
相対照度		11箇所	ゾーン毎に曇天の正午にデジタル照度計で測定	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
気温		1箇所	開園時間中の最高最低気温を記録	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	25	27	309
周辺緑地大鷲神社			ラインセンサス（植物相、動物相）				1									1
周辺水伝右川、毛長川			ラインセンサス（植物相、動物相）				1									1

③ため池及び周辺河川の水質のモニタリング

桑袋ビオトープ公園のため池の上流と下流、ため池への水の供給元である伝右川の 3 か所において水質のモニタリング調査を実施しました（表 8 - (1) - ③ - 1）。水質のモニタリング調査の詳細については「桑袋ビオトープ公園モニタリング調査年間報告書（令和 5 年度）」をご覧ください。

調査地 ため池上流・下流、伝右川

調査時期 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

調査内容 透視度・溶存酸素・pH・水温・全窒素・全リン・BOD・クロロフィル a・動物プランクトン

表 8 - (1) - ③ - 1 令和 5 年度 水質のモニタリング調査回数

調査項目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
水質	透視度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	溶存酸素	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	pH	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	水温	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	全窒素	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	全リン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	BOD	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	クロロフィルa	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	動物プランクトン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

④草地の維持・管理

草地の維持・管理作業については、ゾーンごとに草刈り作業のスケジュールを立てたうえで、毎月環境管理計画の見直しを行いながら作業を実施しました（表 8 - (1) - ④ - 1）。作業内容の詳細については「令和 5 年度環境管理記録」（資料）をご覧ください。

表 8-(1)-④-1 令和 5 年度 草地の維持・管理作業実施工程表

令和5年度 桑袋ビオトープ公園 草地管理作業予定・実施確認表

[illegible]

⑥生物管理

今年度の生物管理作業としては、区民協働によるアメリカザリガニやヒメダカの駆除、スタッフによるウシガエルの駆除、外来植物の抜き取り等を行いました（表 8－（１）－⑥－１）。

・アメリカザリガニの駆除

アメリカザリガニについては、「ザリガニ調べ」に年間で 8,062 人（前年度 7,292 人）の方が参加し、釣りにおいて 7,058 匹（前年度 12,860 匹）の駆除を行うことができました。「タモ網を使った生き物調べ」については実施個所の確保が難しいことから、実施しませんでした。また、ボランティア活動やイベントなどのその他の活動において 4,224 匹（前年度 6,134 匹）を駆除することができました。アメリカザリガニの総駆除数は 11,282 匹（前年度 19,007 匹）となりました（表 8－（１）－⑥－１、表 8－（１）－⑥－２）。総駆除数は前年度より減ったことから、駆除活動により減少していることが考えられます。

・ウシガエルの駆除

ウシガエルについては、トラップによる成体の捕獲、池の巡回による卵塊の駆除を行いました。捕獲数は成体が 35 匹（前年度 12 匹）、幼体が 334 匹（前年度 344 匹）、卵塊が 5（前年度 0）となりました（表 8－（１）－⑥－１）。来年度はより注視して駆除を行う予定です。

・ヒメダカの駆除

ヒメダカについては、ボランティア活動やイベントなどのその他の活動において、3 匹（前年度 29 匹）を駆除することができました（表 8－（１）－⑥－１）。

・カダヤシの駆除

カダヤシについては、ボランティア活動やイベントなどのその他の活動において、895 匹（前年度 7 匹）を駆除することができました（表 8－（１）－⑥－１）。

・外来植物の抜き取り、伐採

外来植物については、全種合わせて 11,305 株（前年度 2,177 株）を駆除しました（表 8－（１）－⑥－１）。環境管理活動の他、公園サポーターの活動やビオレンジャー活動などで抜き取り作業を行い、広範囲の外来植物を駆除することができました。これは次年度も継続して実施したいと考えています。

表 8 - (1) - ⑥ - 1 外来種駆除の作業一覧

令和5年度外来種駆除数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アメリカザリガニの駆除（釣り）	33	894	2635	1773	990	602	68	54	0	0	0	9	7,058
アメリカザリガニの駆除（タモ網）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメリカザリガニの駆除（その他）	210	221	1059	1265	555	716	42	5	0	0	151	0	4,224
アメリカザリガニの総駆除数	243	1,115	3,694	3,038	1,545	1,318	110	59	0	0	151	9	11,282
ヒメダカの駆除（タモ網）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒメダカの駆除（その他）	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
ヒメダカの総駆除数	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
カダヤシの駆除	0	0	0	26	118	747	0	4	0	0	0	0	895
ウシガエル成体の駆除	0	1	6	10	4	2	6	5	0	0	0	1	35
ウシガエル幼体の駆除	0	0	0	0	3	107	224	0	0	0	0	0	334
ウシガエル卵塊の駆除	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
セイタカアワダチソウの抜き取り	0	2884	4732	0	1729	470	210	0	0	0	300	0	10,325
アメリカセンダングサの抜き取り	0	0	0	0	0	116	15	0	0	0	0	0	131
コセンダングサの抜き取り	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
トウネズミモチの抜き取り	0	114	150	191	55	78	200	0	50	0	0	0	838
ナガミヒナゲシの抜き取り	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
ムスカリの抜き取り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来植物の総駆除数	0	3,006	4,882	191	1,784	664	425	3	50	0	300	0	11,305

表 8 - (1) - ⑥ - 2 ザリガニ調べ、虫とり網を使った生き物調べの月別参加者

	ザリガニ調べ				虫とり網を使った生き物調べ		
	大人	子供	ビオレンジャー	合計	大人	ビオレンジャー	合計
4月	159	156	153	468	10	92	102
5月	597	423	395	1,415	40	215	255
6月	580	406	504	1,490	66	269	335
7月	545	359	495	1,399	85	240	325
8月	460	355	307	1,122	69	201	270
9月	382	308	243	933	97	252	349
10月	210	165	156	531	65	195	260
11月	149	133	91	373	28	68	96
12月	22	15	10	47	12	26	38
1月	5	7	8	20	4	16	20
2月	10	10	14	34	1	14	15
3月	68	77	85	230	8	37	45
計	3,187	2,414	2,461	8,062	485	1,625	2,110

⑦水生植物等の管理

水生植物の管理活動においては、水辺ボランティアや提案型ボランティアの作業範囲外を中心に実施しました。主に、交雑ハスの刈り取り、ハスの花托とりを行いました。

2月には、倒れた水生植物がヘドロになる事を防ぐため、ため池・ハス田周囲の枯れ草や、ヒメガマ、ウキヤガラの刈り取りを行いました。

今年度に行った水生植物等の管理作業は、表 8 - (1) - ⑦ - 1 の通りです。

表 8－(1)－⑦－1 令和5年度 水生植物等の管理作業実施内容

作業日	作業場所	作業内容	作業日	作業場所	作業内容
4月	23日	ため池	2月	9日	ため池陸域2
		ハス田		15日	ハス田
5月	19日	ため池			ため池
		ハス田		16日	ハス田
6月	8日	ため池			ため池
7月	13日	ハス田		24日	ため池陸域1
8月	27日	ため池	3月	2日	ハス田
9月	21日	ハス田		3日	ハス田
	22日	ため池		22日	ため池
	27日	ハス田			
	28日	ハス田			
	30日	ハス田			
10月	1日	ハス田			
		ハス田			
	5日	ハス田			
		ハス田			
	8日	ハス田			
	10日	ハス田			
11月	15日	ため池陸域2			
12月	10日	ため池陸域1			

⑧ため池の水質改善の取り組み

前年度に引き続き、ため池の透視度を改善するための取り組みを行いました。透視度悪化の原因として、植物プランクトンの増加があります。増加の要因である栄養塩類を減らす取り組みとして「炭の設置」、「アサザの移植」、「水生植物の刈り取り」の3種類の手法を実施しました。

炭には、有機物などの汚れを吸着させて水を浄化する作用があります。ため池への有機物の流入量を減らす取り組みとして、伝右川からの放水口に、炭を入れたコンテナを設置しました。

水辺ボランティアの活動でアサザの移植、管理作業を行いました。アサザは浮葉植物の一種で、水中の栄養塩吸収が期待できます。今年度の活動により、より広い範囲にアサザを定着させることが出来ました。

ヨシやヒメガマは成長が早く、葉の大きな抽水植物で、窒素固定効果が高いことが知られています。冬季にはヨシやヒメガマなど水生植物が立ち枯れ、水中に栄養塩が流出することがないよう、水辺ボランティアの活動や環境管理作業として刈り取りと回収を行いました。

次年度も、アサザなどの水生植物を適切に管理し、水質改善に取り組みます。